

# 創立60周年 記念誌

この10年を振り返って



(公財)小矢部市体育協会

# 思い出のアルバム



H26 全国制覇！ 全国ビーチボール大会  
優勝：鷹BBC NAUGHTY(ノーティ)



H28 リオ五輪 小野真由美選手 壮行会



H30 国民体育大会 平野洋康選手上位入賞



R1 全国中学ホッケー大会 優勝大谷中学校女子



2016 世界少年野球大会

メルヘンクラブ A



メルヘンクラブ B



市内一周（第35回大会まで）



運動公園内周回（第36回大会）

# 思い出のアルバム



おやべスポーツフェスティバル



小矢部元旦マラソン大会



指導者育成事業



地区体協対抗カローリング大会



富山県駅伝競走大会



富山県駅伝競走大会 小学生の部



地区体協対抗パークゴルフ大会



地区体協対抗ゴルフ選手権大会

## 思い出のアルバム



石動高校女子 インターハイ3連覇



聖火リレーコースを歩こう



東京2020五輪ホッケー 山下学選手



東京2020五輪ホッケー 村田和麻選手



陸上競技場リニューアル



定時評議員会



スタート



ゴール

おやべ422人リレーマラソン大会

# 60周年記念誌の発刊にあたり



公益財団法人小矢部市体育協会  
会長 中嶋 秀明

公益財団法人小矢部市体育協会創立60周年を迎え、記念誌を発刊するにあたり、ご挨拶申し上げます。まず我々が今日の日を迎える事ができたのも、各地区体育協会、各競技団体、学校関係体育連盟等の各会員の皆様、そして歴代の会長はじめ役員関係者各位のおかげであり、茲に深く感謝申し上げます。

この50年から60年の間に世の中は大きく変化しました。まず日本の人口が減少に転じ、少子化にも拍車がかかり地区によっては小学生がほとんどいない所もあります。そういった中で歴史のある小矢部市の各地区体育協会対抗の駅伝競走大会も大変残念ではありますが廃止をさせていただきました。代わる事業としましては、2022年におやべ422人リレーマラソン大会を開催いたしました。まだ始まったばかりですが、これから皆さんにより愛される事業に成長させたいと考えます。

また、2020年の春より新型コロナウイルスによりスポーツ界も多大なる影響を受けました。2020年はほとんど全ての大会が開催されず、活動することすらできない状況でした。この時の小中高生の最高学年の生徒にとっては寂しく辛い年となりました。今現在も影響がないわけではなく、これからも感染対策を十分に行い、スポーツ活動や大会の開催をしなければならないでしょう。

そして教員の多忙化の解消などを目的に中学校の部活動の地域移行の準備が始まりました。近い将来、間違いなく中学校から運動部、文化部を含め部活動はなくなっていくでしょう。しかしながら各競技団体に於かれましてはこの機会を会員拡大のチャンスととらえ各競技の振興発展に努めていただければと思います。

各地区体育協会におかれましては新型コロナと少子化、後継者不足などで大変な運営が続きますが地域の皆様のスポーツの振興、健康促進、親睦の為これからもよろしくお願い致します。

日本体育協会は2018年に日本スポーツ協会と名称を変更しました。スポーツという名称が、現在の協会の活動により合っているからでしょう。スポーツとは一定のルールに則って勝敗を競ったり、楽しみを求めたりする身体活動などの総称です。これからの協会はスポーツを行う上でのあらゆる問題点を深く考え活動していく事が大切になっていくでしょう。

小矢部市体育協会はこれからも会員の皆様の声を第一に、各界のご意見にも耳を傾け、小矢部市のスポーツの振興、市民の皆様の健康促進、体力の向上を目的にしっかりと活動して参ります。皆様方に於かれましてはこれまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 発刊を祝して



公益財団法人富山県体育協会  
会 長 新 田 八 朗

このたび、公益財団法人小矢部市体育協会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会には、昭和38年3月に創立されて以来、幾度かの組織体制の変更を経ながら、組織の充実・強化に努められ、スポーツの普及・振興を通して市民の生きがいがづくりや健康増進に多大な貢献をいただいています。

この間、特にホッケー競技において数多くの優秀な選手を輩出されるとともに、全国的・国際的な競技会を数多く開催されるなど、ホッケーの街「おやべ」の名声は広く全国に定着しています。

オリンピックには2004年のアテネオリンピック以降、連続して小矢部市出身の選手がホッケー日本代表のメンバーとして出場しており、とりわけ2021年に開催された東京2020オリンピックには、2名の選手が出場し、その活躍は、県民の皆様に感動と勇気を、子どもたちに夢と希望を与えてくれました。

ここに、中嶋秀明会長はじめ、歴代役員並びに会員の皆様の並々ならぬご熱意とご努力に対し、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、スポーツは、県民の皆様の「ウェルビーイング（真の幸せ）」を高め、明るく豊かで活力に満ちた社会を創るうえで大変重要な役割を果たしています。

富山県体育協会としましても、市町村体育・スポーツ協会をはじめ、各競技団体と「ワンチーム」となり、引き続き、スポーツの普及・振興と競技力の向上に努めるとともに、県民の皆様一人ひとりがスポーツを楽しめる環境づくりに積極的に取り組み、県民生活にさらに浸透するよう努めてまいります。

貴協会には、このたびの創立60周年を契機として、今後とも地域スポーツの振興に一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人小矢部市体育協会の限りないご発展と、皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

# 発刊を祝して



小 矢 部 市 長  
桜 井 森 夫

この度、公益財団法人小矢部市体育協会が創立60周年を迎えられ、その節目に記念誌を発刊されますことは誠に喜ばしく、心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和37年8月の小矢部市誕生から間もない、昭和38年3月に創立されて以来、60年の長きにわたって各種スポーツの競技力向上や、市民のスポーツ推進に多大な御貢献をいただいております、歴代会長を始め関係の皆様のお御尽力に対して深く敬意を表する次第でございます。

特に、本市を代表するホッケー競技においては、東京2020オリンピックで活躍した山下・村田両選手、令和3年度全国高等学校総合体育大会優勝の石動高等学校女子ホッケー部、令和4年度全日本中学生ホッケー選手権大会優勝の石動中学校女子ホッケー部を輩出するなど、各種大会において多数の選手の活躍が見られるのも、貴協会及び傘下競技団体の情熱と長年にわたる御努力の賜であり、今後とも引き続き、御尽力いただきますようお願い申し上げます。

また、少子化と高齢化が同時進行する中、近年はフレイル（加齢により、心身が衰えた状態）予防としての生涯スポーツの重要度がますます高まっております。本市といたしましても、令和3年度に改訂した「小矢部市生涯スポーツプラン」に基づき、全ての年代の方々が楽しみながら、支え合うスポーツ社会の実現を目指し、体力・健康づくりに向けた環境整備、学校教育の充実、競技力向上システムの構築を推進しているところであります。

貴協会には、引き続きその一翼を担っていただき、更なる競技力向上と市民のスポーツ推進に御協力賜りますよう、心から御期待を申し上げます。

結びに、この度の記念すべき60周年を契機に、貴協会がますます御発展されますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

# 発刊を祝して



小矢部市議会 議長  
義浦 英昭

このたび、公益財団法人小矢部市体育協会が、栄誉ある創立60周年を迎えられ、また更なる飛躍に向けて記念誌を発刊されますことは、大変意義深いことであり、小矢部市議会を代表して心よりお慶びを申し上げます。

小矢部市体育協会には、昭和38年の創立以来、各種スポーツの普及を通して、市民のスポーツ振興と競技力向上に多大なるご貢献をいただいております。また、指定管理における模範的役割を担うなど、スポーツ環境の充実に日々ご努力いただいておりますことに、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

本市では、「生涯スポーツの促進」を重点施策といたしまして、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりの年齢や体力に応じた生涯スポーツ活動の推進とスポーツ指導者の育成・指導体制の充実等を目指して取り組んでいるところであります。

貴協会のさまざまなスポーツイベントや各種行事は、各種スポーツ団体との密接な連携のもと、市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康の保持増進が図られ、さらには、年齢や地域を越えた選手間の関わりにも、大きく貢献されております。

市議会といたしましても、魅力ある住みよいまちを形成するためには、日頃からのスポーツを通じて、市民の皆さんが元気で健康でいきいきと生活されることが何より重要であると考えております。

どうか、創立60周年を契機とされまして、今後ともスポーツの普及・啓発、ひいてはより魅力ある住みよいまちづくりに、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、公益財団法人小矢部市体育協会の今後ますますのご発展を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

# ～ 目 次 ～

発刊の言葉	(公財) 小矢部市体育協会会長	. . . . .	1
発刊を祝して	(公財) 富山県体育協会会長	. . . . .	2
	小矢部市長	. . . . .	3
	小矢部市議会議長	. . . . .	4
小矢部市体育協会この10年 (平成25年4月～)			6

## 加盟団体この10年 (平成25年4月～)

### ◆競技団体

小矢部野球連盟	7
小矢部市ソフトボール協会	8
小矢部市ゲートボール協会	9
小矢部市バレーボール協会	10
小矢部市ホッケー協会	11
小矢部市サッカー協会	12
小矢部市陸上競技協会	13
小矢部市ソフトテニス連盟	14
小矢部市バドミントン協会	15
小矢部市サイクリング協会	16
小矢部市バスケットボール協会	17
小矢部市スキー協会	18
小矢部市柔道協会	19
小矢部市ビーチボール協会	20
小矢部市ゴルフ連盟	21
小矢部市剣道連盟	22
小矢部弓道会	23
小矢部空手道連盟	24
小矢部市テニス協会	25
小矢部市卓球協会	26
小矢部市水泳協会	27
小矢部市ボウリング協会	28
おやべ合気会	29
小矢部市ペタンク協会	30
小矢部市ルンバークラウト・ゴルフ協会	31
小矢部市ダンススポーツ連盟	32
おやべパークゴルフ協会	33

### ◆地区体育協会

西部地区体育協会	34
中部地区体育協会	35
東部地区体育協会	36
北部地区体育協会	37
南部地区体育協会	38
南谷地区体育協会	39
埴生地区体育協会	40
松沢地区体育協会	41
若林地区体育協会	42
正得地区体育協会	43
荒川地区体育協会	44
子撫地区体育協会	45
宮島地区体育協会	46
北蟹谷地区体育協会	47
東蟹谷地区体育協会	48
藪波地区体育協会	49
津沢地区体育協会	50
水島地区体育協会	51

### ◆推進団体

小矢部市小学校体育連盟	52
小矢部市中学校体育連盟	53
小矢部市高等学校体育連盟	54
小矢部市スポーツ少年団本部	55
小矢部市連合婦人会	56

## 資料編

資料①	小矢部市駅伝競走大会成績	. . . . .	57
資料②	自主事業歴代成績 (平成25年度～令和4年度)	. . . . .	59
	歴代役員 (平成25年度～令和4年度)	. . . . .	60
	あとがき	. . . . .	62

# 小矢部市体育協会 この10年

事業年度	主活動および加盟競技団体等での入賞記録 など
平成25年	5月 小矢部市ダンススポーツ連盟新規加盟 8月 蟹谷中学校女子ホッケー部全日本大会で優勝
平成26年	4月 屋内スポーツセンター、武道館、運動公園体育施設の施設管理を再受託する 6月 全日本生涯野球大会にて小矢部メルヘン義仲クラブが優勝 9月 第1回おやべ4時間リレーランがクロスランドを会場に開催される
平成27年	3月 石動高校女子ホッケー部高校総体で4年ぶり優勝 10月 市スポーツ少年団が文部科学大臣表彰受賞～生涯スポーツ優良団体
平成28年	5月 第9代会長に中嶋秀明氏就任 5月 小矢部市パークゴルフ協会新規加盟 12月 石動高校女子ホッケー部選抜大会で優勝
平成29年	9月 屋内スポーツセンター人工芝化される 9月 全日本マスターズホッケー大会開催、ガッツ石動（女子）、 小矢部シルバーFOX（男子）優勝 12月 石動高校男子ホッケー部高校選抜大会で優勝 12月 女子ホッケーのガッツ石動チーム、文部科学大臣賞受賞（生涯スポーツ団体）
平成30年	6月 初の事業として地区対抗のパークゴルフ大会を開催 西部地区体協が優勝 8月 石動高校女子ホッケー部高校総体で優勝 9月 福井国体で平野洋康君（高岡高校1年）100m背泳2位、200m個人メドレー 3位入賞飾る
平成31年	4月 屋内スポーツセンター、武道館、運動公園体育施設の施設管理を再受託する
令和元年	8月 石動高校女子ホッケー部高校総体優勝 2連覇達成 8月 大谷中学校女子チーム全日本中学ホッケー大会で優勝
令和2年	5月 定時評議員会 新型コロナ感染防止のため中止し、書面決議とする 10月 第37回市駅伝競走大会 コロナ感染拡大により中止 小矢部市駅伝競走大会は、第37回をもって終了となる 12月 石動高校ホッケー部男女共高校選抜大会で準優勝
令和3年	5月 定時評議員会前年度に続き書面決議とする 6月 聖火リレーコースを歩こうの実施 8月 東京オリンピック男子ホッケー競技に山下学、村田和麻選手出場、PV開催で応援 8月 石動高校女子ホッケー部地元開催の高校総体で優勝飾る 3連覇達成 10月 市駅伝競走大会に代わる事業として422人リレーマラソン大会を計画するもコロナ禍で開催見送る
令和4年	8月 石動中学校女子ホッケー部全国大会で優勝（26年ぶり） 9月 全日本マスターズホッケー大会開催、地元4チームが優勝 10月 422人リレーマラソン大会を初開催（小矢部陸上競技場）
令和5年	2月 創立60周年記念式典・講演会および記念誌発刊

# 小矢部野球連盟



会長 深田 数成



## 1. 加盟状況

この10年間の加盟チームの増減は一般が9減、少年（中学校）1減、学童（小学校）1減、高校1減と減少傾向であり、令和4年度のチームの加盟状況は一般15、少年（中学校）3、学童4（以上が全日本軟式野球連盟へ登録）、還暦（60歳以上）2、寿（40歳以上）1、高校1、おやベースボールクラブ1の27チームが加盟している。

当連盟では少子高齢化が急速に進み、多種多様なスポーツが愛好される中、多様なスタイルで野球を楽しむ層のニーズに応えるよう普及・育成事業を推進している。

## 2. 加盟チームの活躍（平成25年度～令和4年度）\* 県代表のみ掲載

西日本学童軟式野球大会（平成25年度）	大谷野球スポーツ少年団	3位
西日本学童軟式野球大会（平成26年度）	石動殖生スターズスポーツ少年団	1回戦敗
関東・北信越少年軟式野球大会（平成27年度）	大谷中学校	2回戦敗
松井秀喜旗争奪学童軟式野球大会（平成28年度）	津沢野球スポーツ少年団	1回戦敗
中部日本地区選抜中学軟式野球大会（平成28年度）	大谷中学校	2回戦敗
西日本学童軟式野球大会（平成29年度）	大谷野球スポーツ少年団	1回戦敗

## 3. 連盟の活動（平成25年度～令和4年度）

主な活動は、大会の主催又は主管及び審判活動で年間延べ450人程度を派遣している。

### (1) 主な大会の主催又は主管

#### (ア) 各種大会の小矢部市予選など（毎年度）

全日本軟式野球連盟や富山県軟式野球連盟が主催又は主管する小矢部市予選	
中学校体育連盟が主催する砺波地区予選	15大会
小矢部市内の大会（市長杯・議長杯ナイター、石動信用金庫旗）	2大会

#### (イ) 練習試合等への審判員派遣（毎年度）

市内の中学校、高校の練習試合や他の団体が小矢部野球場で行う野球大会の審判依頼に応じ、延べ200人程度の審判員を派遣している。寿野球や還暦野球などにも派遣している。

#### (ウ) 富山県大会（小矢部野球場にて実施）

高松宮賜杯軟式野球大会	第57回大会～第62回大会、第65回大会
クラブ対抗野球大会	第37回大会～第42回大会
富山県民体育大会 二部	第72回大会
日本スポーツマスターズ軟式野球大会2022	
マクドナルド学童軟式野球大会	第18回大会～25回大会
富山県学童軟式野球大会	第26回大会～27回大会

#### (エ) 全国大会

高松宮賜杯第57回全日本軟式野球大会 平成25年9月27日～30日 県内6会場  
小矢部野球場では、28日3試合、29日2試合が行われた。

#### (オ) イベント等の開催

第25回ダイワハウス全国少年少女野球教室 令和元年5月12日  
市内学童チーム約100人が、プロ野球OB5人の指導を受ける。

# 小矢部市 ソフトボール協会



会長 川原 賢司



## 1. 協会の目的・方針

昭和45年4月の設立以来、当協会は、ソフトボールの普及・拡大と競技力向上を目的として活動を続けており、そのために、次の4つの事業に取り組むことを活動方針としている。

- (1) 各種大会の主催
- (2) 県大会等への参加及び県・北信越大会等の主管
- (3) ピッチング講習会等の開催
- (4) 女子チーム運営や親子ソフトボール教室による普及活動



—親子ソフトボール教室の紅白戦—

## 2. 10年間（H25年～）の活動状況

上記の方針のもと、次の事業に取り組んできた。

- (1) 各種大会の主催
  - ① ナイターリーグソフトボール大会  
令和4年度で第34回目を迎えた。優勝チームは、富山県一般男子2部への出場権を得る。
  - ② 小矢部市民体育大会ソフトボール競技大会  
令和4年度で第60回目となった。優勝チームは県体ソフトボール競技への出場権を得る。
  - ③ 小矢部市長杯ソフトボール大会  
昭和58年度に300歳ソフトボール大会として開始し、平成25年度から市長杯ソフトボールとなった。（新型コロナのため令和3年度は中止となり、令和4年度は大会中断となった）
  - ④ 小矢部市ソフトボール選手権大会  
昭和60年度にクラブ対抗ソフトボール大会として開始し、平成元年度からソフトボール選手となった。（新型コロナのため令和3年度、4年度は中止となった）
- (2) 県大会等への参加及び県・北信越大会等の主管
  - ① 県大会等への参加  
県体、北信越エルダー県予選、スポレク祭、マスターズ大会、一般男子2部大会等に出場
  - ② 県・北信越大会等の主管  
全日本実業団北信越予選大会(H25)北信越実年大会(H26)北信越エルダー大会(H26)をはじめ北信越エルダー大会県予選、中ブロックエルダー大会県予選(H28～毎年)を主管してきた。
- (3) ピッチング講習会等の開催  
ウインドミル投法の技術習得をめざして、毎年開催している。
- (4) 女子チームの設立・運営や親子ソフトボール教室開催等による普及活動
  - ① 女子チーム「ピーチーズ」(H25～エルダー登録)を設立し、県体等に出場している。
  - ② おやバススポーツクラブの教室の一つとして「親子・一般ソフトボール教室」を実施している。
  - ③ 小矢部市企業協会ソフトボール大会に審判を派遣し、競技人口の拡大を図っている。

## 3. 今後の活動方針など

- (1) 現在の主催大会、親子ソフトボール教室等の活動の継続
- (2) 登録チーム数の拡大、審判員の養成
- (3) 中学校部活動の地域移行の対応

# 小矢部市 ゲートボール協会



## 1. 協会の現状

会長 後東 直則

小矢部市ゲートボール協会が発足し、40年の月日を迎えました。発足時から会員は徐々に増加し、平成14年には約600名の会員数となりましたが、その後高齢者向けの新しいスポーツの普及により分散化し、会員数は減少傾向が続いており、現在は100人を下回る状況になってきてます。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

<平成25年>

5月25日 北信越選手権GB大会(長野県)メルヘン荒川チーム3位入賞

7月7日 県選手権GB大会(富山市)8チーム出場、メルヘン荒川・津沢・金屋本江チーム北信越出場決定

11月14日 中部日本選手権GB大会(愛知県)メルヘン荒川チーム3位入賞

<平成26年>

5月31日 北信越選手権GB大会(福井県)メルヘン荒川・津沢・金屋本江チーム出場

7月27日 県民体育大会(南砺市)男子・女子1チーム出場、男子チーム3位入賞

9月25・26日 世界選手権GB大会視察(新潟県)15名参加

<平成27年>

5月17日 荒川ゲートボールクラブ小矢部市体育協会から表彰される。

7月5日 第34回県選手権GB大会(富山市)2チーム出場、28年北信越選手権GB大会石動植生チーム出場決定

<平成28年>

5月28・29日 第31回北信越選手権GB大会(富山市)石動植生チーム4位グループ1位入賞

6月19日 第34回県高齢者GB大会(砺波市)11チーム出場ねんりんピック長崎メルヘンチーム出場決定

7月10日 第36回県選手権GB大会(高岡市)8チーム出場、水牧金屋・石動植生チーム北信越出場決定

9月25日 第25回県男子選手権GB大会(小矢部市)6チーム出場、タワーズチーム3位入賞

10月14～18日 ねんりんピック長崎県大会、メルヘンチーム出場

10月26・27日 中部日本GB大会(高岡市)宮正チーム出場、4位グループ1位入賞

<平成29年>

6月3日・4日 北信越GB大会(新潟県)水牧金屋・石動植生チーム出場

6月11日 県スポレク大会(高岡市)7チーム出場、中部日本GB大会石動植生チーム出場決定

7月9日 第37回県選手権GB大会(砺波市)6チーム出場北信越選手権GB大会水牧金屋チーム出場決定

11月30日 近隣市親善記念大会(小矢部市)12チーム出場、屋内スポーツセンター人工芝完成記念

<平成30年>

6月2・3日 北信越GB大会(長野県)水牧金屋チーム出場

11月4～6日 ねんりんピック富山県大会(高岡市)審判員派遣12名

11月21・22日 第30回中部日本選手権GB大会(石川県)1チーム出場

<平成31年・令和元年>

5月25・26日 第34回北信越選手権GB大会(福井県)正得チーム出場

7月28日 県民体育大会(立山町)男子・女子チーム出場、女子チーム2位入賞

<令和2年>新型コロナウイルス感染症拡大のため県大会全て中止、ねんりんピック中止になる。

<令和3年>

9月29日 富山県交通安全功労団体表彰受賞

<令和4年>

3月23日 令和3年度とやま県民スポーツ大賞受賞

## 3. 今後の活動方針

会員の高齢化により会員の減少傾向が続いております。ゲートボール競技の魅力について市民にアピールし、会員増に努力していくことが急務であると認識し、努力していきたいと思っております。

# 小矢部市 バレーボール協会



会長 塚田 三四治



小矢部市バレーボール協会

## 1. 協会の方針・目的

本協会はバレーボール競技の普及・振興を目的に小学生から一般まで諸大会を開催、競技力向上を目指し、また会員相互の親睦を深めることも目的として活動を行っています。

## 2. 10年間（H25年～）の活動状況

継続している主催事業

- ・市民体育大会（県体予選）
- ・メルヘンカップ大会（スポ少）
- ・女子夜間リーグ
- ・協会長杯（小学生大会・中学生大会・一般女子大会）
- ・ソフトバレーボール大会
- ・男女混合大会

大会によって市外はもとより県内、県外チームの参加も勧めて実施している。

<平成25年>

- 10月 夢未クラブがミズノ杯北信越クラブ大会出場（新潟）

<平成26年>

- ・発足50周年を迎え記念祝賀会を実施し、記念誌も発刊した。

<平成29年>

- 4月 稲原實会長が退任、新会長に塚田三四治が就任した。

- 11月 小矢部ソフトバレーボールチームを編成、全国ねりんピック大会に出場（富山県）

<令和2年>

- 2月 参与で長年指導者として又、協会役員として功績のあった遠藤壮一氏が長く病いと戦われていたが逝去された。誠に悲しい思いでした。
- ・コロナ感染症拡大防止のため毎年開催の主催事業を中止とした。
- ・定期総会も書面決議とするなど集まりを避ける行為を続けた。

<令和3年>

- ・コロナ感染症拡大防止のためほとんどの事業を中止
- ・市体 中学の部 協会長杯 小学生・中学生大会実施

<令和4年>

- ・コロナ感染症拡大防止のために主な事業中止
- ・実施大会 市体中学の部 スポ少交流大会
- ・協会長杯中学生大会実施（市内外12チーム参加）
- ・協会長杯小学生大会

## 3. 今後の活動方針

近年 指導者の人的交流も影響し、市外チームとの交流が深まり、小中学生のレベルが上昇、地区大会で上位進出も増えている。今後とも少子化の課題は抱えているが地域としての支援を図ることを重要な課題として努めなければならない。

また、1チームだけあった中学男子チームも廃部となり、今後スポ少男子愛好者も含めた子供たちの活動を応援していきたい。指導者及び競技者の高齢化も課題として取り組んでいかねばならない。



ねりんピック出場

# 小矢部市ホッケー協会



会長 石田 義弘

## 1. 協会の方針・目的

全国に通用するチーム、選手を育成することを目的に、スポーツ少年団からマスターズまで幅広く活動を行う。また、指導者や競技役員についても、全国レベルとなるよう育成に努めている。

## 2. 10年間の各種大会成績

### ・リオオリンピック

日本女子チームは4大会連続で出場し、本市出身選手として小林真由美（旧姓：小野）が出場。小林は北京大会に続き、2回目のオリンピック出場となった。

本市出身のオリンピック出場選手は4大会連続。日本の最終成績は10位であった。

### ・東京オリンピック

日本男子チームは1968年メキシコ大会以来53年ぶりの出場をし、本市選手として山下学、本市出身選手として村田和麻が出場。本市出身のオリンピック出場選手は、男子では初、男女通じては5大会連続となる。日本の最終成績は11位であった。

### ・全国スポーツ少年団ホッケー交流大会（スポーツ少年団）

2013年度：東部男子 準優勝      2016年度：津沢男子 準優勝  
2017年度：蟹谷女子 準優勝      2022年度：RED OX石動女子 準優勝

### ・全日本中学生ホッケー選手権大会（中学生）

2013年度：蟹谷中女子 優勝      2014年度：津沢・蟹谷中（合同）男子 準優勝  
2019年度：大谷中女子 優勝      2022年度：石動中女子 優勝

### ・全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会（中学生）

2018年度：富山県女子 準優勝

### ・全国高等学校ホッケー選手権大会（インターハイ）（高校生）

2015年度：石動高女子 優勝      2018年度：石動高女子 優勝  
2019年度：石動高女子 優勝      2021年度：石動高女子 優勝

### ・全国高等学校選抜ホッケー大会（高校生）

2014年度：石動高女子 準優勝      2015年度：石動高女子 優勝  
2017年度：石動高男子 優勝      2020年度：石動高男子 準優勝、石動高女子 準優勝

### ・国民体育大会（高校生）

2016年度：少年男子 準優勝      2018年度：少年男子 準優勝、少年女子 準優勝  
2022年度：少年女子 準優勝

### ・全日本社会人ホッケー選手権大会（一般）

2019年度：小矢部RED OX 準優勝

### ・全日本マスターズホッケー大会（マスターズ）

10年間において女子が2種別で延べ3回の優勝、男子が4種別で延べ10回の優勝

## 3. 今後の活動方針

今後も全国に通用するチーム、選手、指導者、競技役員の育成に努めるが、競技人口の減少に歯止めをかけるよう普及活動により一層力を入れていく。

また、小矢部RED OXを核としたクラブチームを立ち上げたが、この取り組みを進めることでジュニア層から一般層まで一貫した指導体制を構築するとともに、新たな層にホッケーの魅力を訴求し普及につなげていきたい。

# 小矢部市サッカー協会



会長 福田 隆雄



## 1. 小矢部市サッカー協会におけるこの10年

世界でサッカー競技人口は、約2億5千万人とされており、約4億5千万人のバスケットボールにつぎ、第2位に競技人口が多いスポーツです。日本におきましても2000年と2018年を比較すると、約2倍競技人口が伸びています。その背景には、男女問わず開催される4年に1度のFIFAワールドカップや2020東京オリンピックでの日本代表選手の活躍の賜物であると思われま

す。本年開催されましたワールドカップカタール2022や来年開催される女性ワールドカップオーストラリア&ニュージーランドでの日本代表選手の活躍を期待しております。

小矢部市のサッカー協会では、日本サッカー協会・富山県サッカー協会と「サッカーを通じて、健全な体育生活の進展をはかり、地域のサッカー競技の振興に寄与すること」を目的として活動しております。生涯に渡りサッカーに携わる市民を増やしていくため、協会では特に、女子や幼少期世代とシニア世代のサッカー競技の普及強化・交流に積極的に取り組んできました。

女子については、1995年の第1回大会から本年度で第28回大会になる「メルヘン女子サッカー大会」の開催です。今では、女子がサッカーをすることに違和感はなくなっていますが、当初はレベルもさることながら、選手集めや大会のチーム集めに苦労していました。おかげ様をもちまして大会自体も定着し、最近では市内のチームが上位に入ることが増えてきております。

幼少期世代については、2002年からクロスランドおやべのメインホールで開催されている「クロスランドカップ幼児フットサル大会」や2019年から実施している年長園児を対象とした「サッカー体験教室」の実施です。最近では、新型コロナウイルス感染拡大により、大会や教室は中止となっておりますが、これらの大会を通して、少子化の中でもスポーツ少年団員の確保につながっているものと感じております。

シニア世代については、「健康的でサッカーを楽しむ」を基本に、練習・試合を通じて交流を深めるなど、競技人口も徐々に拡大しており、市内にも複数のシニアチームが活躍しております。

人生において健康であり続け、そして生涯スポーツとしてサッカー競技に関わっていくことは大切なことでもあります。そのためにも、シニアサッカーの普及を継続していく予定です。

2019年9月には、第6回おやべリレーランの中で、ゲストの元Jリーガー中西哲夫さんによるミニサッカー教室を開催し、子供たちと一緒に強化委員もいい汗をかき、交流を深めました。これも小矢部市及び公益財団法人小矢部市体育協会のご協力・ご支援の賜物であり、今後も引き続き市サッカー協会の活動にご支援をお願いしたいと考えております。



ミニサッカー教室

最後に、全国レベルの選手育成や一般社会人の強化など、課題もありますが、交流会などの実施による長期的プランを掲げ、いずれは日本代表選手が本市から生まれることを期待し、サッカーを楽しみ、サッカーができる喜びに感謝の気持ちを忘れない、選手育成に努めたいと考えております。

# 小矢部市 陸上競技協会



## 1. 小矢部市陸上競技協会のあゆみ

会長 荒井 勇

昭和38年3月、小矢部市体育協会の発足と同時に各地区の陸上指導員が中心となり、「小矢部市陸上競技協会」を設立、現在に至っている。

その間、小矢部元旦マラソン大会や小学生陸上競技大会を主催したり、市民体育大会や小矢部市駅伝競走大会等の主管団体として運営に務めたり、富山県駅伝競走大会小矢部市選手団への支援や県民体育大会2部競技に参加したりする等、市内の陸上競技の普及発展、競技力の向上、競技選手の育成等を行ってきた。また、国民体育大会や全国青年大会、全国マスターズ大会等の全国的な大会に出場する選手も多数輩出している。

令和4年4月1日現在の会員は33名であり、日々練習に精進し、各地で開催される陸上競技大会やマラソン大会等に参加し、陸上競技を楽しんでいる。また、市内や県内で開催される陸上競技大会の役員や審判員として大会運営にも協力している。

## 2. 活動状況

### 1). 小矢部元旦マラソン大会

昭和52年より開催している。当初は小矢部市役所を発着としていたが、第22回(平成10年)大会から、会場をクロスランドおやべに移し、実施している。毎年300名以上の参加者があり、正月行事の一つとして多くの市民が楽しみにしており、市外や県外からの参加者もある。本協会にとっても最大の事業であり、市民や関係諸団体等の意見を聞きながら、より市民から親しまれ愛される大会として今後も実施していきたい。

第44回大会のスタート



### 2). 小学生陸上競技大会

昭和60年「少年少女リレー競走大会」として開催し、「小学生陸上競技交流大会」「小矢部市民体育大会小学生の部」と、名称を変更しながら継続して小学生の陸上競技大会を実施している。市大会を勝ち抜き、県大会でも多くの入賞者が生まれている。県大会で優勝し、全国大会へ出場した選手もあり、平成27年の第31回全国大会では、吉岡裕希君(石動小)が男子ソフトボール投げで見事4位入賞を果たした。

この大会の出場をきっかけに、中学高校進学と同時に陸上競技を本格的に始める児童もあり、陸上競技者人口拡大の一躍を担っている大会でもある。

### 3). 小矢部市駅伝競走大会

小矢部市体育協会の主催事業として、昭和58年より実施されており、その主管団体としてコースの選定から競技運営に至るまで携わってきた。この大会の出場をきっかけに、富山県駅伝競走大会や全国都道府県対抗駅伝競走大会に出場する選手も数多くおり、小矢部市の長距離選手発掘の一助となる大会でもあった。第37回大会を最後に廃止となる。

## 3. 課題と今後の方針

近年の少子高齢化の中、競技者の発掘や育成・競技力の向上は重要な課題である。また、小学校の学童陸上記録会の廃止、中学校陸上競技部の廃部等、児童生徒が本格的に陸上競技に触れ体験する機会や場が少なくなっている現状もある。会員の高齢化や減少も協会にとっては大きな課題である。

令和4年に小矢部陸上競技場が改修されたことを契機に、陸上競技場を活用しながら、小中高校生や一般等、各年代に応じた選手の育成や競技力の向上、会員の勧誘を今後計っていききたい。

## 4. 歴代役員(平成25年以降)

会 長	荒井 勇	平成23年 ~ 現在
理 事 長	水口 賢	平成21年 ~ 現在
事務局長	新井 隆子	平成25年 ~ 現在

# 小矢部市 ソフトテニス連盟



## 【小矢部市ソフトテニス連盟全般】

会長 高橋 靖夫

この10年間を振り返ってみる。市連盟に所属するチーム（小学生チーム、一般チーム）が、ここ10年間で、5チームに増えたことによりソフトテニスを愛好する方々が少しずつ増えてきている。

市民体育大会、県民体育大会や砺波地区クラブ対抗をはじめ、県春季クラブ対抗、県秋季クラブ対抗、北信越選手権大会などの各種大会に小矢部市連盟の選手が多数出場するようになってきている。

大会の結果には結びついていないのが現状ですが、大会に出場することにより小矢部市のソフトテニス盛り上がってきているのは、事実である。もちろん大会で上位入賞することが目標ですが、ソフトテニスは、小さい子から年配の方々まで楽しめる生涯スポーツです。

まずは、沢山の方々ソフトテニスを楽しめる環境を整えていき、その中で、大会で上位入賞できるような選手が出てこれば最高なことだと考えております。今後も小学生、中学生、高校生と指導員を派遣し社会人になってもソフトテニスが続けてくれるよう期待する。

## 【小学生】

この10年間で、おやべソフトテニススポーツ少年団の選手から、富山県代表となるような選手が輩出されてきた。また、大谷ソフトテニスクラブも新しく結成され、小学生への普及発展強化を図っている。今後もますます普及発展することを願っている。

## 【中学校】

小学生時代に富山県代表となるような選手が、石動中学校又は大谷中学校へ進学し、県内大会で上位入賞を果たしている。特に、令和3年度富山県中学生選手権大会団体戦において、大谷中学校が初優勝を果たした。今後も小学生チームから中学生へと上手く継続した指導を続け、普及発展強化を続けてほしいと考えている。

## 【高等学校】

市内の高等学校のこの10年は、連盟より指導者を派遣しているところであるが、まだまだ思うような成果が上がっていないのが現状である。しかし、平成29年度の富山県高校総体において、石動高校の川口・五十嵐ペアがベスト16に入賞し、北信越大会へ駒を進めている。このペアの川口君はおやべソフトテニススポーツ少年団出身で、石動中学校から石動高校へ進学した選手です。少しずつではあるが、小学生から高校生までの普及強化の成果が出てきている。

今後も小矢部市出身の選手が県内外で、ますます活躍することを期待する。また、卒業後は、小矢部市ソフトテニス連盟への加入も促進させていきたい。

## 【現在の役員】 令和4年4月現在

会長 高橋 靖夫

理事長 福井 康弘

顧問 村西 宏

副会長 脇坂 幸雄

常任監事 谷崎 孝志

倉田 徹也 高橋 信次

大鋸谷 健一

(会員数：男子24名、女子10名 ※R4/10/1現在)

## 【主な年間行事】

4月 総会（県連、市連）

6月 市民体育大会

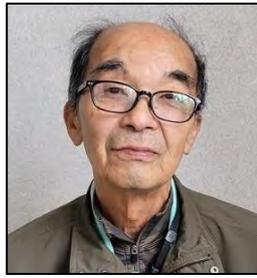
7月 県民体育大会

11月 市ジュニアオープン大会

12月 納会（県連）

3月 市インドア大会

# 小矢部市 バドミントン協会



会長 藤村 道博



## 1. 協会の方針・目的

本協会は、小矢部市におけるバドミンントンの普及振興を図り、競技力の向上に資するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的として活動を行っています。

その目的を達成するために、バドミントン競技会の開催、競技の普及と選手の育成・強化などの事業を行っています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

本協会では、目的を達成するため、下記の大会を主催し実施しています。

4月下旬 小矢部市バドミントン協会長杯争奪バドミントン大会

7月中旬 小矢部市民バドミントン大会

12月初旬 小矢部市バドミントン選手権大会

また、市民体育大会、県民体育大会、富山県バドミントン協会、南砺市バドミントン協会及び砺波市バドミントン協会が主催される大会に参加するなど、各種大会へ参加し、他市との交流も深めているところであります。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本協会に加盟している団体が少ないことを考慮して、本協会が主催するすべての大会を中止させていただいていますが、令和5年度からはすべての大会を実施する方向としています。

一方で、令和3年度からは県民体育大会、富山県バドミントン協会、南砺市バドミントン協会及び砺波市バドミントン協会が主催される大会に参加させていただいています。

本協会としても、他団体の運営方法などを勉強して、新型コロナウイルス感染予防に努めた大会運営を行っていきたいと考えています。

## 3. 今後の活動方針

人口減少や社会変化により競技人口の減少、特に社会人の競技人口が少なくなっており、来てきており

県民体育大会には、一般男子（二部）は出場できない時が増えてきており、一般女子（二部）は平成23年度以降、出場できていない状況にあります。

また、競技団体として、小学校が1団体、中学校が1団体、高校が3団体、一般が3団体と少ない状況にあります。

近年では、バドミントン競技が取りあげられる機会が増えてきました。生涯スポーツと健康増進及びバドミンントンの普及を目指し、おやべスポーツクラブから依頼され開催していますバドミントン教室は通年開催しており、また、石動スポーツ少年団の指導も行っているところでもあります。

本協会としては、今後も、競技人口の拡大、競技力の向上、公認審判員の育成等に努めていきたいと考えております。

最後に、歴代の役員、そして協会員の皆様にお礼を申し上げるとともに、今後も市体育協会、そして皆様のご協力をお願いいたします。

# 小矢部市 サイクリング協会



会長 中田 正樹



## 1. 協会の設立と経過

当協会は、昭和30年代に自転車小売商業協同組合が地区ごとに行っていた「おはようサイクリング」で下地が作られ、昭和40年に、サイクリングの普及とサイクリングを通じた人間人格の形成を図ることを目的として設立しました。

設立当時は市教育委員会の後援をいただき、小中学生を対象とした「いちご狩りサイクリング」を恒例行事としていました。

平成に入り、高岡地区広域圏事務組合主催による3市（高岡市、氷見市、小矢部市）1町（福岡町）持ち回りによるサイクリングイベントや、おやバスポートクラブが主催するサイクリングのお世話もし、半世紀近く活動しています。

また、サイクリングターミナルの誘致活動にも取り組みました。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

おはようサイクリング、市民サイクリング大会、オータムサイクリングが主な行事です。

会員の自転車も本格的なロードバイクからママチャリ、電動アシストバイク、マウンテンバイク、クロスバイクとさまざま。内容も1日100キロを走るツーリングから物見遊山（ポタリング）など多様なイベントを企画しています。目的地を一緒にしても、途中のコースを複数計画し、誰もが自分にあった楽しい走りができるよう工夫しています。

### 【主な活動記録】

- 平成26年 淡路島サイクリング（兵庫県）
- 27年 浜名湖サイクリング（静岡県）
- 28年 伊勢神宮サイクリング（三重県）
- 29年 九頭竜川サイクリング（福井県）
- 30年 奈良サイクリング（古都の史跡めぐり）
- 令和 元年 島根サイクリング（松江～出雲大社）
- 2年 氷見サイクリング（小矢部～氷見）
- 3年 庄川峡サイクリング（小矢部～庄川峡）
- 4年 新川サイクリング（糸魚川～宇奈月～滑川）

新川サイクリング



奈良サイクリング



氷見サイクリング



## 3. 今後の活動方針

より多くの方にサイクリングに親しんで貰えるよう様々なイベントを企画します。

また、近年、自転車利用者の交通ルールについての報道を耳にすることが増えたように感じます。

当協会においても、マナーやルールについての周知、啓発活動を行い安全かつ楽しいサイクリングを実践します。

# 小矢部市 バスケットボール協会



会長 田中 正之

## 1. 協会の方針・目的など

小矢部市におけるバスケットボールの健全な普及発展及び技術の向上と指導者の育成を図ることを目的としている。

<活動内容・現状等>

### (1) 小学生（ミニバスケットボール）

市内にあるミニバスケットボールチーム（男子1、女子1）の競技力・技術向上及び同世代との親睦・交流を図るため「メルヘンカップ大会」を年1回開催している。

### (2) 中学生

市内中学校のバスケットボール部（男子2、女子1）の競技力・技術向上及び同世代との親睦・交流を図るため「メルヘンカップ大会」を年1回開催している。

### (3) 一般（社会人）

定期的に活動している社会人チームが男子1チームとなってしまった。競技力・技術向上のためにも競技人口を増やしたいと考えている。

また、女子チームについては、例年は県民体育大会に出場していたが、コロナ禍以降、チーム編成・活動が不可能な状態が続いている。

### (4) 指導者及び審判員

指導者及び審判員については、質の高い指導・判定ができるように資格取得等の支援を行う等育成及び確保に努めている。

## 2. 10年間（H25年～）の活動状況

### ① メルヘンカップ大会

例年は年1回、県内外の小・中学生を招いて同大会を開催していたが、近年はコロナ禍により令和2年度以降、開催中止が続いている。

### ② クリニック（講習会）

外部から指導者を招聘し、小・中学生向けのクリニックを開催している。

2016～2017年には、鈴木良和氏（当時は男子日本代表サポートコーチ、現在は女子日本代表アシスタントコーチ）を招き、中学生を対象としたクリニックを開催した。

また、同クリニックでは、プレーヤーだけではなく、指導者の指導力向上も目的として開催しており、ミニバス指導者と中学校の部活動指導者も補助的に参加して、全国トップクラスの指導方法を学んだ。

## 3. 今後の活動方針など

「メルヘンカップ大会」開催については、大会運営の協力者である保護者とも連携して安全に実施できる環境づくりを検討し再開に努め、子供たちの笑顔あふれる大会にしたい。

近年とみに、少子化による競技人口の減少が進んでいる。2019年からは、富山県出身の八村塁選手がNBAでプレーするなど、バスケットボールに対する注目も高まってきており、これを契機として競技人口の裾野を広げ、多くの子供たちがバスケットボールに親しむ環境づくりに努めたい。

また、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革による「休日部活動の地域移行」や少子化による学校や部活動の統合等といった、これまでになかった諸課題が発生しているが、子供たちには質の高い指導を継続して行えるよう、関係機関と連携して対応して行きたい。

# 小矢部市スキー協会



会長 柏 年一

## 小矢部市体育協会60周年記念

小矢部市体育協会60周年おめでとうございます、小矢部市スキー協会からお祝い申し上げます。

スキー協会が体育協会に所属し活動してから、50年以上になりますが、当協会は冬が活動の場であり、雪が無ければ活動ができません。

しかし近年は雪も豊富で、会員はしっかりと自分のスキー技術の向上に勤しんでおります。

秋が過ぎ、冬が近づくと心も体もはや冬のモードに入っております、近年のスキー用具のマテリアル革新や新たなスキー場の話で盛り上がります。

本年は新たにチームウェアを一新して活動の予定です。

長年、石動、東部両小学校のスキー教室に多くの会員が出向き、子供達にスキーを通じて北陸の冬の楽しみを感じてもらっております。

その他近隣のスキー場の応援として、タンボースキー場近郊の小学校スキー教室、またIOXスキー場のスキー教室にも会員が出向きスキーの楽しさを教えております。

子供たちの雪上での笑い声が、私達協会員にとって大きな励みとなり、世代を超えてスキーを通じて北陸の冬を楽しんでおります。

せっかくの雪国の恵まれた環境での楽しみを、存分に味わい、雪の上を、風を切って滑る楽しさを多くの市民の方に感じていただけるようさらなる取り組みをしてゆく所存です。

小矢部市民スキー競技大会も48回を迎えようとしております。

スキーは生涯スポーツです、年齢を重ねても山に入れば自然は受け入れてくれます、スキー最高。



# 小矢部市柔道協会



会長 中嶋 秀明

## 1. 目的

小矢部市柔道協会の目的は、小矢部市の柔道の振興、発展に継続して努めていくことであります。

下はスポーツ少年団から、中学、高校、一般と広い世代の中で柔道の振興を進め、考えていく事が大切です。

少子化の中、大変ではありますがスポーツ少年団への勧誘から継続へ、もちろん中学、高校から、一般からも柔道を経験して頂いても遅くはありません。性別、年代を問わず柔道の魅力、素晴らしさを知っていただき少しでも多くの方に体験してもらおう事が必要だと考えます。そうすることによって小矢部市の柔道の裾野が広がるでしょう。

柔道という競技において、富山県一、日本一、世界一を目指して頑張っていく事も大切ではありますが、それ以上に人として少しでも成長していく事も大事なことです。例えば、しっかりと挨拶が出来るようになったり、時として相手を思いやる事が出来るようになったり、お父さん、お母さん、家族の皆さんに感謝の気持ちを持てるようになったり、子供達にはそのように成長して欲しいと思います。

## 2. 10年間の活動状況

協会の活動としましては、競技として市体の開催、県体への参加、柔道スポーツ少年団交流大会の開催（直近3年は新型コロナの影響により会場をクロスランドおやべから小矢部市武道館へ移し開催）を主に行っております。

審判員におきましては新たな審判員の推薦、育成を行い活性化を図っております。国際ルールも毎年少しずつ変わってきておりますので、年に一度、小、中学生、一般に対して審判講習会を行っております。

強化の部分におきましては、柔道スポーツ少年団、中学の柔道部に対して毎年、強化費を配付しております。また、その年の全国大会の出場者には激励金を贈呈しております。

## 3. 今後の活動方針

2020・2021・2022年と新型コロナによりあらゆるスポーツが活動する上で影響を受けました。感染症がなくなることはありません、これからは感染症対策を十分に行った上で大会を開催したり、練習を行うことが必要です。柔道は常に相手と接して行う競技です、より気を付けて行うことが大切です。

上に書いた目的を進めていくには継続することが大切です、その為には次の世代を育てていく事が絶対条件となります。若い世代が活動しやすい環境づくりも必要でしょう。

継続は力です、小矢部市の柔道の振興、発展が富山県、日本国の柔道の振興に繋がるものと信じて頑張ります。

# 小矢部市 ビーチボール協会



会長 加藤 幸雄



## 1. 協会の経緯と理念

誰でも楽しめるスポーツとして、昭和54年に朝日町から広まったビーチボール。

平成元年に小矢部市ビーチボール協会が設立され、それ以降地域や婦人会、職場などで広がり、県や全国大会などで常に上位の成績を残しております。

平成30年には設立30周年を迎え、記念大会を開催いたしました。これを節目とし、初心に戻りフレッシュ・フェア・ファイトを合い言葉に、より多くの愛好者の皆様と一緒にビーチボールの輪を広げてゆきたい。

### 協会役員\*\*\*\*\*

会	長	加藤	幸雄
副	会	長	山森 美津恵
理	事	長	玄覚 洋一
事務局	長兼審判	長	山室 美里
監	事	濱野	勝艶

## 2. 活動内容

年間の行事には3つの大きな大会を開催・協賛をしております。中でも秋に開催されるメルヘンカップビーチボール大会は、県内外から多くのチームが集まり、愛好者との親睦を深め 互いをリスペクトし、また意見交換などを通して技術を高め合う場ともなっております。

また、冬期には市長・議長・県議杯を開催し、市内の職場や地域で活動している愛好者のコミュニケーションの場にもなっています。

審判員の技能向上のため講習会を開催。他団体主催の大会への派遣も行っています。

## 3. 今後の活動方針など

「いつでも どこでも だれとでも」がビーチボールのスローガン。そのスローガンを胸に活動を進めて参りましたが、この10年普及していく一方で、競技スポーツとして本格的な活動に取り組む傾向が一層強くなりました。

更に、このコロナ禍、接触が避けられないスポーツであるが故、ビーチボールは敬遠されがちになってしまいます。

時代に合った運営、競技スポーツの在り方などを模索しながら、原点に立ち返り、ビーチボールを楽しめる「場面」を増やしていくことが課題である。

# 小矢部市ゴルフ連盟



会長 桜井 森夫

## 1. はじめに

小矢部市ゴルフ連盟は、平成9年に設立されてから、毎年、市民親善ゴルフ大会、ジュニアゴルフスクールを開催しています。

また、県民体育大会の郡市対抗競技に代表選手を派遣し、平成29年に優勝し、以降は毎年2位という好成績を残しております。

## 2. 市民親善ゴルフ大会

市民親善ゴルフ大会は、毎年5月4日に千羽平ゴルフクラブで180人程の参加者で、市民相互の親睦を図り、ゴルフの競技力向上を目標に開催しています。

また、この大会は小矢部市民体育大会のゴルフ競技としての位置づけにもなります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、表彰式等は行わず前半9Hのストロークプレーにより集計をするなど、感染リスクの低い大会運営にも努めています。

### (過去5年間の優勝者)

平成30年度 第40回大会	山本 正人
令和元年度 第41回大会	戸田 邦雄
令和2年度 第42回大会	(中止)
令和3年度 第43回大会	
白山スタート	柴田 浩二
日本海スタート	林 伸治
立山スタート	多加 浩二
令和4年度 第44回大会	
白山スタート	中屋 秀喜
日本海スタート	沼田 利浩
立山スタート	居島 仁伸

## 3. 地区体協対抗ゴルフ選手権大会

地区体協対抗ゴルフ選手権大会は、毎年秋にゴルフ倶楽部ゴールドウインにおいて、小矢部市体育協会との共催で開催していましたが、令和元年度から開催を中止しています。

## 4. ジュニアゴルフスクール

ジュニアゴルフスクールは、子供たちにゴルフの楽しさを知ってもらい、その中で競技としてのゴルフに挑戦してほしいとの願いから、市内の練習場（ロイヤルメドウゴルフクラブ）の協力を得て、「おやべスポーツクラブ」との共催で、毎年夏に開催しています。

プロの講師を招き、週に1回2カ月間、楽しくレッスンを行っています。



## 5. おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時期は活動を自粛しておりましたが、近年では、屋外スポーツということで感染リスクが少ないなどの理由により、ゴルフ競技者も増加してきており、男女問わず若い世代にも人気の高いスポーツです。これからも安全で楽しく、より多くの方にプレーしていただけるようゴルフの魅力を発信していきたいと思っております。

# 小矢部市剣道連盟



会長 金田 剛光

## 1. 協会の方針

昭和50年に全日本剣道連盟が制定をした剣道の理念『剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である』に基づき、併せて初代会長杉浦宗隆範士の教えでもある「師弟同行」の精神を持って若年層の健全な育成又自らの生涯剣道を目標とし、日々精武することを目的としています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

昭和54年に100名の受講生で発足した剣道教室は、現在も年間を通して毎週2回の指導を行っています。

平成26年には小学生18名、以降年々生徒数が減少して、令和4年には7名（小矢部市剣道教室6名・津沢剣道教室1名）までになりましたが元気に練習を続けています。

将来小矢部市の剣道人口が増加しないのではという危機感を持ち、平成30年から中学生から幼稚園児まで対象を拡げ、剣道教室の周知・勧誘を行う等の対策を始めました

## 3. 今後の活動方針

少子化の中において、平成24年度から中学校授業の武道必修化に対応してきました。

また、令和5年度より導入される、休日部活動の段階的な地域移行に考慮し、次世代にスムーズなバトンタッチが出来る様に、会員相互の融和と技術の研鑽に励みながら、小矢部市剣道連盟の活動を継続して行きます。

更に、県民体育大会等各種大会での上位入賞を目指して頑張っていきたいと思えます。

### 【現役員】

名誉会長	松岡 宗理	会 長	金田 剛光
顧 問	牧本 雄一	副 会 長	和田 司
相 談 役	沼田 敏	理 事 長	桑原 保之
参 与	千代 士朗	理 事	古村 利一
			松木 聡
			柴田 昭浩
			津田 昌明
		監 事	中橋 文夫
		事務局長	神島 将雄

# 小矢部弓道会



会長 川原 俊昭

## 1. 弓道普及活動と指導者の拡大

俱利伽羅古戦場観光としてのおやべウォーキング等で平成26年に矢立堂で、令和元年に矢立山で射流しを実演、平成28年に埴生八幡宮義仲祭での鏑矢・大的奉納、となみ野高校での弓道講座を行い、弓道普及と当会入会活動を展開してきた。

また、称号受有者等においては平成27年に小川英信、29年に永井ちか子、令和4年に寺松優が錬士昇格、27年に中島小夜子が六段昇段、そして令和3年に当会初めて川原俊昭が教士に昇格し、指導者の拡大が図られてきた。

## 2. 全国、北信越、県大会等での活躍と新型コロナウイルス感染下での活動

平成26年全日本北信越予選大会に川原俊昭が、令和元年ねりんピックに富山県監督として川原俊昭が出場した。県体では、平成25年、27年の郡市対抗で女子の部が、29年の近的男子で川原俊昭が入賞し、県大会では、射初会、100射会、20射会、射礼大会そして各支部射会で入賞するなど、全国・北信越・県レベル大会で活躍してきた。

令和2年からの度重なる新型コロナウイルス感染拡大により、全国、北信越、県大会等中止が相次いだ。3密を回避した感染防止対策を図りながら、地道に活動を繰り返している。

## 3. 歴代役員(平成25年以降)

- ・会 長 平成25年から現在 川原俊昭
- ・副 会 長 平成25年から令和3年 大川他修、中島小夜子 4年から中島小夜子
- ・理 事 長 平成25年から28年 斉藤孝臣 29年から現在 小川英信
- ・事務局長 平成25年から28年 小萱 有 29年から現在早田賢吉
- ・県連理事 平成23年から令和元年 川原俊昭 2年から現在川原俊昭、小川英信

## 4. 主な競技等の成績(平成25年以降、県大、北信越、全国レベルの射会)

年	月	大会名	種目	順位	出場者
平成25年	1月	県射初会		3位	中島小夜子
	7月	県体2部	女子	2位	小萱、永井、中島
	9月	立山支部射会	女子	3位	小萱恵未子
	10月	県100射会		5位	小萱有
	12月	教員支部射会		3位	加賀谷恵子
平成26年	3月	富山支部射会	女子	1位	加賀谷恵子
	4月	射水支部射会	女子	3位	加賀谷恵子
	5月	全日本選手権北信越予選大会		出場	川原俊昭
平成27年	3月	富山支部射会	女子	2位	加賀谷恵子
	4月	射水支部射会	男子	5位	牧野勝雄
	4月	氷見支部射会	女子	4位	丹羽美香
	7月	県体2部	女子	2位	加賀谷、永井、中島
	8月	滑川支部射会	女子	2位	中島小夜子
平成28年	4月	射水支部射会	女子	4位	大橋礼佳
	4月	射水支部射会	女子	5位	加賀谷恵子
	9月	立山支部射会	女子	2位	加賀谷恵子
平成29年	6月	魚津支部射会	団体混成	3位	紺屋嶋、小川、守谷
	6月	魚津支部射会	男子	3位	小川英信
	7月	県体1部	近的成年男子	2位	川原俊昭
平成30年	10月	県20射会	称号者の部	3位	川原俊昭
	11月	県射礼大会	1つ射礼の部	2位	矢口、中島、川原
令和元年	6月	イキイキゆうゆう大会		1位	川原俊昭
	11月	全国健康福祉祭(ねりんピック)	監督	出場	富山県(川原俊昭 他)

# 小矢部空手道連盟



会長 崎井 昌俊

## 1. 協会役員

会	長	崎井	昌俊
副	会	湯谷	信竹
富山県空手道連盟理事		野原	謙二
小矢部空手道スポーツ少年団団長		野原	謙二
市体協評議員		野原	謙二
事務局	長	北島	英雄

## 2. 発足と歩み

昭和57年4月、故堅田陽二先生と渡辺昭氏が、旧福岡町の湯谷信竹先生を師範として迎え、空手教室として、湯谷、堅田両先生の指導の元発足する。練習場を小矢部市武道館とし、少年部、一般部に分かれて活動を開始する。

昭和59年小矢部市体育協会に加盟し、名称を小矢部空手道連盟、小矢部空手道スポーツ少年団とする。

昭和60年富山県空手道連盟に加盟し、平成元年小矢部空手道スポーツ少年団育成会（父母の会）が発足する。

平成元年4月、福岡町空手道スポーツ少年団が発足し、各活動行事を当少年団と合同にて行う。

平成21年4月、故沼田仁義氏に代わり、崎井昌俊先生が会長に就任し、現在に至る。

## 3. 現状と課題

一般部は、過去に湯谷先生の組手一部成年男子中量級の県優勝及び国体出場、県体二部成年男子団体組手三位入賞3回と当初は成績を上げましたが、残念ながら平成6年以降一般部は競技選手の減少に伴い、出場出来なくなってきました。

スポーツ少年団は、ここ2、3年はコロナの影響もありまして、県大会2回戦敗退が続いております。また、平成20年当時は30名程の登録でしたが、子供の減少に伴い本年度は9名の登録です。

小学校を卒業して中学校では部活動をするため、なかなか空手道を続けられないのが現状です。

子供たちが成長して、また元気な顔を見せてくれることを願います。

課題としては、指導者の高齢化と少子化による団員の減少が最大の課題であり、当連盟と団の存続を支えるには指導者になりえる一般会員の加入、育成が必要不可欠であります。

我々は空手道を青少年の健全なる育成スポーツとして考え、スポーツ少年団の指導並びに活動を中心とし、団員と共に日々研鑽を重ねて行きたいと思っております。



練習場	小矢部市武道館	TEL 68-1723
練習日	毎週2回 火、木	PM 7:00~8:00
事務局	小矢部市清水122	TEL 61-3095
	北島 英雄	

# 小矢部市テニス協会



会長 柏 年一

## 1. 協会の方針

一般のかた及び生涯スポーツを楽しんでもらうためにシニアのかた、ジュニアの育成などテニスの普及活動と、技術の向上をめざしています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

平成10年代前半までは、テニス人口も多く、コートに笑顔、歓声があふれていて、協会主催のオープン大会や、スクールにもたくさんの参加者を迎えていました。

ところが、徐々にテニスを楽しむ人が減っていき、大会参加者も減って、寂しくなっていました。

平成17年より、スポーツクラブの主催でプロのコーチを迎え、ジュニア及び一般のスクールが開催され、それにより平成20年より、ジュニアの大会も開催できるようになりました。

しかし、ジュニアも学校を卒業し、県外にでる人や、子育てで時間が取れない事で、小矢部でテニスを楽しむ人が少なくなってきました。

平成29年より屋内コートが整備され、雨の日でもプレーできるようになりました。

定期的な練習会も続いています。新たにテニスを始めようかという人が少ないのが、現状です。



※協会メンバー集合写真と、小矢部市立屋内スポーツセンター内での練習風景

## 3. 今後の活動方針

若い人から高齢者までテニスを楽しむ人が増えてくるよう、スクールの開催、気軽に参加できる試合などを企画したいです。

市民体育大会、また県体への参加はもちろん、県体ではずっと初戦で負け続けていますが、男女共に、1回戦突破をめざして練習していきたいものです。

# 小矢部市卓球協会



会長 折田 政夫

## 1. 協会の方針・目的など

私たちは「卓球場」というプラットフォームを通して、小矢部市民の豊かで健康的な生活の一端を創造・維持することを目指しています。

誰でも気軽に来ていただける空間づくりに努めています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
会員数	39名	36名	31名	28名	28名	28名	31名	33名	33名	33名
競技普及	8	9	4	1	2	1	—	—	—	—
競技強化	46	47	42	24	23	23	23	15	15	(24)
市体開催	開催	中止	中止	開催						
県体派遣	派遣	中止	ラージ	ラージ						

※その他各種大会参加：年18回程度

### <概要>

平成25年～27年 それまでの活動内容を踏襲。

- ・ 呉西地区卓球交流会の主催（年1回程度）
- ・ 競技力強化事業（通常練習会：年46回程度）
- ・ 競技普及事業（年7回程度）

平成28年 北蟹谷スポーツセンターでの練習会を廃止。

- ・ 通常練習会は水島スポーツセンターのみ（年24回）となる。

平成29年 積立てた基金を利用し、当協会の統一ユニホームを作る。

令和2年～4年 コロナ危機により活動量を減らす。

- ・ 令和2年 コロナ対策により通常練習会を年15回にする。
- ・ 基金利用により、当年度のすべての会費等を会員に半額程度返還する。
- ・ 令和3年 通常練習会年15回
- ・ 令和4年 通常練習会を年24回に戻す。（本年度予定）
- ・ 積立てた基金を利用し、当協会の統一ユニホームを作る。（2回目）

## 3. 今後の活動方針など

- ・ レクリエーションから大会参加までの幅広いサポート体制を継続する。
- ・ 10代、20代への更なる卓球の普及に努める。

# 小矢部市水泳協会



会長 嶋田 幸恵

## 1. 協会の方針

小矢部市の水泳人口の拡大と水泳競技の向上を目的とし、各種事業を通じて幅広い年代に対して、水泳を通し市民の健康増進、小矢部市のスポーツ振興に貢献する事を目的とし、活動を行っています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

毎年、地域の小中学生を対象に強化練習会を開催し競技力の向上を図り、北信越大会、全国中学、インターハイ、国体、ジュニアオリンピックなどで活躍できる選手を輩出した。

また、元オリンピック選手のクリニックや実技講習会を開催し、競技力の向上、水泳競技の普及に取り組んだ。

このような活動の取り組みの結果、平成30年富山県スポーツ功労賞、令和4年生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣より表彰いただくことができました。



中西悠子氏スイムクリニック

## 3. 今後の活動方針など

今後も市民が水泳を生涯スポーツとして行えるよう、水泳教室、水中運動教室等を開催し、小矢部市の水泳の普及を続けていきたいと考えています。

# 小矢部市ボウリング協会



会長 長森 義治

## 1. 協会の方針・目的など

我々小矢部市ボウリング協会は、年に一度行われる富山県民体育大会においては、過去に3度の優勝もし、県内でも強いチームでした。

ですが、年々協会員も少なくなり、市大会でも盛り上がりには欠けております。

ボウリングは老若男女問わず、さらには天候の影響も受けずにプレーできる最高の生涯スポーツです。

初心者の方々も気軽に参加していただき、楽しくボウリングをしてもらえたらと思っています。

大会では交流の場として是非参加していただければと思います。

我々会員一同、歓迎しております。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

富山県民体育大会成績

年度	男子 4人チーム	女子 2人チーム
2019年	5位	2位
2021年	6位	4位
2022年	成績なし	4位

## 3. 今後の活動方針など

今、小矢部市民で投げる人を募集しています。

各センター（ボウリング場）にて協会員各自で競技を行っています。

富山県民体育大会において、協会員一同良い成績を上げるため、練習を頑張っています。

ご興味のある方はお気軽に相談下さい。

# おやべ合気会



会長 高木 博行

## 1. 協会の方針・目的など

方針は、感謝と思いやりを忘れず、お互いに敬意をはらい、日々の稽古に励む事です。  
相手を尊重する事で、信頼関係や仲間意識が養われ、相互向上に繋がると思っています。  
そして、稽古できる環境・道具・場所などにも、感謝と礼節を持つように指導していきたいです。

目的は、ただ合気道の技を習得したいという思いだけです。

そして、受け継がれてきた技を、後世にも引き継いでほしいです。

不随効果として、日々の稽古に励むことで、自然に体力と柔軟さが養われます。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

活動状況は、普段の稽古を、金曜日の午後7時30分から9時に行っています。

その他は、年に一度、小矢部市民体育大会の頃に合同稽古を行っています。

合気道の数ある流派の内、おやべ合気会では西尾流の技を受け継ぎ稽古しています。

西尾流は、体術の他、刀・杖の武具を利用して合気道の技を表現する武道です。

武道と聞くと、相手に攻撃を与える印象がありますが、西尾流の合気道は、お互いに傷つけない平和な武道です。

技の習得に困難を感じながらも、全員が向上意欲を持ち、日々稽古に励んでいます。

## 3. 今後の活動方針など

今後の活動方針は、ケガなどが無いように注意し、日々まじめに稽古を行い、確実に相互の技術を向上していく事です。

基本の動きを繰り返し稽古する事で基礎を定着させ、自然に体が動くようになりたいです。

多少上手くなったとしても、驕ることなく、少しでも尊敬する先人に近づけるよう、研鑽を積んでいきたいです。

# 小矢部市ペタンク協会



会長 水口 久太郎

## 1. 目的

小矢部市ペタンク協会は、手軽なニュースポーツ「ペタンク」競技を通じて、市民の心身の健康づくりに寄与し、会員相互の親睦と明るい地域社会づくりに貢献することを目的に、(公財)小矢部市体育協会の協力のもとに、市民体育大会や春・秋の大会を開催しています。

## 2. 役員(令和4年4月1日現在)

顧問 松本 信悦・前田 敏雄・嶋田 武雄・斎田 新次・西田 龍夫(歴代の会長等)  
 会長 水口 久太郎  
 副会長 牧野 正秋・得永 栄治  
 理事長 西尾 久光  
 理事 18人(各地区より選出)  
 監事 上田 繁、高田 健一

## 3. 過去の活動状況(大会成績・平成30年以降)

年	月 日	大会名	優勝杯	優 勝	次 賞	三 位	参加チーム数
平成30年	5月25日	第56回市体 第41回大会	市長杯	共栄C	五郎丸A	共栄E	58チーム
			議長杯	小森谷A	共栄A	メルヘン荒川	
			会長杯	白谷B	松永B	興法寺C	
	9月28日	第42回大会	市長杯	共栄A	小森谷A	藪波	39チーム
			議長杯	共栄B	平田C	共栄C	
			会長杯	北一C	松永B	水牧	
平成31年 令和元年	5月24日	第57回市体 第43回大会	市長杯	共栄B	荒川A	平田D	51チーム
			議長杯	埴生	白谷A	共栄A	
			会長杯	平田E	平田C	藪波B	
	9月28日	第44回大会	市長杯	平田B	白谷	水牧	49チーム
			議長杯	末友B	野端B	藪波C	
			会長杯	北一A	共栄C	共栄A	
令和2年	5月22日	第58回市体 第45回大会	コロナ感染症拡大により春の大会は中止				39チーム
	9月26日	第58回市体 第46回大会	市長杯	綾子	共栄B	水牧	
			議長杯	白谷	荒川A	北一A	
令和3年	5月21日	第59回市体	コロナ感染症拡大により春、秋の大会とも中止				
	9月24日	第47回大会					
令和4年	5月27日	第60回市体 第48回大会	市長杯	共栄A	共栄C	小森谷A	38チーム
			議長杯	北一	津沢南部A	荒川B	
			会長杯	共栄B	埴生	荒川C	
	9月30日	第49回大会	市長杯	荒川B	共栄A	平田A	45チーム
			議長杯	荒川A	綾子A	平田B	
			会長杯	白谷	共栄C	五郎丸D	

## 4. 今後の活動方針・課題

競技は、春の市体及び秋の大会と2回実施しているが、会員の高齢化に伴い競技人口の減少が進んでおり、競技の面白さを体感し理解してもらう等、若い人や誰でも気軽に参加しやすい競技にして行く必要があり、幅広く世代間を超えた普及促進に努めていきたい。

一部地域では、中学生を対象に「ペタンク教室」を開催し、普及促進に努めている。

# 小矢部市

## メルヘングラウンド・ゴルフ協会



会長 西川 康夫

### 1. 協会の方針

当協会は、グラウンド・ゴルフの競技活動を通じて心身の健康保持、増進と会員相互の融和を図ることを目的として、平成19年に58名の愛好者で「メルヘングラウンド・ゴルフ協会」を設立し、本令和4年に15周年を迎えました。現在105名の会員で日々の練習や月例会・親睦大会・市民体育大会等の競技大会を開催して、会員相互の融和を図ると共に、県内外各種大会に参加してグラウンド・ゴルフ愛好者との交流や親睦に努める。

### 2. 10年間（H25年～）の活動状況

平成25年	1月19日	「第6回定期総会」西川会長就任 会員126名 以後、毎年1月に開催
〃	4月21日	「第21回富山県春季大会」開催 270名参加 クロスランド交流広場
〃	7月7日	「第51回市民体育大会」グラウンド・ゴルフの部開催 56名参加 以後、毎年7月に水辺の楽校で開催する
〃	11月4日	「第2回富山県チャンピオン大会」開催 小矢部陸上競技場
平成26年	4月20日	「第22回富山県春季大会」開催 273名参加 クロスランド交流広場
〃	9月20日	「第3回小矢部市&砺波市GG親睦交流大会」開催 若林運動公園 以後、会場持ち回りで隔年水辺の楽校で開催する
〃	11月3日	「第3回富山県チャンピオン大会」開催 小矢部陸上競技場
平成27年	4月19日	「第23回富山県春季大会」開催 271名参加 小矢部陸上競技場
〃	8月5日	「第1回親睦交流研修会」41名参加 能登いこいの村
平成28年	8月3日	「第2回親睦交流研修会」47名参加 潮見台でプレーやまじゅうにて親睦会
〃	9月4日	「第24回富山県秋季大会」開催 小矢部陸上競技場 以後、25回、26回、27回大会開催
令和2年	2月26日	「第13回定期総会」会員数102名 新型コロナ感染防止で書面議決
〃	10月25日	「第9回富山県チャンピオン大会」開催150名参加 小矢部陸上競技場
令和3年	2月	「第14回定期総会書面議決」偶数月の月例大会にラッキー賞新設
令和4年	2月22日	「第15回定期総会」会員数105名 市民交流プラザ
〃	9月4日	「第30回富山県秋季大会」開催 小矢部陸上競技場
〃	10月8日	「設立15周年記念大会開催」水辺の楽校 70名参加

### 3. 今後の活動方針

メルヘングラウンド・ゴルフ協会の合言葉である「健康を保持する・融和を図る・マナーを守る」を基本的な方針とし当市の健康づくりの一助になるよう活動をすると共に、県内外の競技大会に参加し愛好者との交流促進を図る。

グラウンド・ゴルフは、ゴルフをアレンジした「いつでも・どこでも・だれでも」をスローガンに子供から高齢者まで幅広く出来るスポーツであり、会員の加入促進に努めると共に小矢部市や小矢部市体育協会等との連携を図り普及啓発を行う。

日々の主な活動拠点である「水辺の楽校芝生広場」「岩尾滝多目的グラウンド」等の良好な状態の維持管理に努める。

## 小矢部市

### ダンススポーツ連盟



会長 日光 他家志



#### 1. 小矢部市ダンススポーツ連盟の方針、目的

小矢部市ダンススポーツ連盟は社交ダンスサークルの公益性と技術の向上をめざし、平成25年に設立されました。

当連盟は、富山県ダンススポーツ連盟に所属しており、富山県民体育大会ダンススポーツ競技県民スポレク祭ダンススポーツ競技等への参加をはじめ、交流ダンスパーティーの開催等により若い世代から高齢者までダンススポーツの普及に努めています。

現在3つのサークルが当連盟に加盟しており、それぞれ定期的に練習会を開催し、ダンスを楽しみながら練習に励んでいます。

#### 2. 10年間の活動状況

##### ① 定期練習会の開催

加盟している3つのサークルはそれぞれに毎週練習会を行っています。

ご都合の良い日時に合わせ、どのサークルにも加入することができます。

##### ② 交流ダンスパーティーの開催等

加盟サークルが中心になり、毎年数回、交流ダンスパーティーを開催しています。

また、公民館まつり等に当連盟の会員が出場しています。

##### ③ 市民体育大会ダンススポーツ競技の部の開催

毎年、市民体育大会ダンススポーツの部を開催しています。

種目は、スタンダードのワルツ、タンゴ、ラテンのルンバ、チャチャチャ等です。

優秀な成績のペアが県民体育大会に出場します。

##### ④ 県民体育大会ダンススポーツ競技の部等への出場

県民体育大会をはじめ、県民スポーツレクリエーション大会、富山県ダンススポーツ大会に毎回参加し、A級・B級等の級別競技・シニア級別競技にて決勝進出、入賞などの活躍をしています。

#### 3. 今後の活動方針

ダンススポーツは、いわゆる「社交ダンス」を明るく健全なスポーツとして発展してきたものです。

高齢者の方も気軽にできる楽しいスポーツです。

一般的には体力の維持向上、姿勢がよくなる等の効果が期待でき今後はさらに普及に努めて行きたいと思えます。

尚、2028年国民スポーツ大会長野大会よりダンススポーツが公開競技として参加することになっています。

# おやべパークゴルフ協会



会長 高田 勇

## 1. 方針・目的

当協会は、県内各パークゴルフ協会の中で10数年遅い設立です。

協会を設立して14年、当時45名での発足でしたが現在155名余りの会員増となり活躍し続けております。

平成27年4月に、綾子河川公園に小矢部パークゴルフ場として9ホールが整備され、平成29年に、9ホール追加整備され18ホールとして供用され、愛好者の増員の弾みとなる。

樹木や花・芝生など自然を大切にしながら、マナー・ルールを守り、老若男女三世代誰もが気軽に楽しむことのできる生涯スポーツです。

特に中高年の皆様には『心身共に健康の増進』として健康寿命を延ばし、心豊かに生活を送る上でも非常に意義深いことでもあります。

多くの市民の皆様に参加頂き元気で幸せな日々が送れるよう愛好者の増加を期待しております。

## 2. 活動状況

- ・ 毎月の月例会
- ・ 各種大会 市民PG大会 市長杯 市体育大会 協会長杯 他
- ・ 県協会 県スポレク祭 県選手権大会 県会長杯 北日本新聞社長杯等予選大会 他
- ・ 各スポンサー大会 等
- ・ 講習会、研修会を開催し競技ルール・マナー、技術の向上を図る

## 3. 今後の活動

生涯の健康パークゴルフとして、愛好者を募り、交流と親睦の輪を広げ、地域社会の貢献と普及・振興に微力を尽くすとともに、健全な発展に向け、その役割を果たすべく努力をしております。

# 西部地区体育協会



会長 金谷 雄司



## 1. 協会の方針

市体育協会の設立と共に西部地区体育協会も設立され、地区住民の健康増進と親睦を図ることを目標に活動を続けている。地区内には12の自治会（560戸余）があり、これを6ブロックに分け、運営を分担して各種行事を実施している。

## 2. 10年間の活動状況

主な自主事業

### ① ラジオ体操&ウォーキング

誰でも気軽にできる運動を通じて健康の保持増進への意識をたかめることを目的に、毎年8月の第一日曜日に開催している。

夏の早朝、スポーツ推進委員の指導を受けながらラジオ体操を行い、その後城山公園までウォーキングを楽しむ内容である。

### ② 住民体育大会

多くの方々の熱意に支えられて途切れることなく引き継がれ、老若男女が一堂に会し、スポーツを通じて親睦を深める良い機会として、夏の一大恒例行事となっている。

8月最終日曜日に地区を6つのブロックに分けて、玉入れ、満水レースなど7種目の競技を行う。できるだけ多くの年代の方々が楽しく参加できるように競技の見直しをするなど、内容を工夫して実施している。

地区内では少子高齢化が進み、人間関係の希薄化が問題になってきているがテントの中で会話を楽しんだり、近所の子どもに声援を送ったりすることが地域活動参加のきっかけになるよう願います。

### ③ 地域スポーツ交流会

これまで続けてきたビーチボール大会に代わり、今年度（令和4年）から広い年代の方々に参加いただけるようにカローリング大会を実施することになりました。今後もいろんなニュースポーツの体験ができるよう、競技の変更を検討して行く予定です。



ラジオ体操



運動会開会式



玉入れ



カローリング大会

## 3. 今後の展望

誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を目標に掲げ、できるだけ大勢の地区住民の皆様に参加してもらうことを基本理念として、活動を展開していきます。今後は上記3大会に加え、運動不足になりがちな冬場に高齢者や親子で楽しめる行事を新たに企画し定着させたいと考えております。

# 中部地区体育協会



会長 飛田 昌廣



## 1. 方針・目的

中部地区は石動町市街地の中央に位置し、城山町と旧町名で中町・上飯田町・中飯田町・下飯田鍛冶町・上新町・中下新町の世帯数248戸からなっている。

諸行事に参加してもらうことによって、地区住民の健康づくりと応援や会話等で相互の親睦を図ることを目的としている。

## 2. 10年間（H25年～）の活動状況

当協会の活動は、各町内会や各種団体の協力を得て活動している。現在、中部地区を3ブロックに分けて理事長・副理事長・事務局長・会計を選出し、2年間の輪番制で運営している。

また、各町内会長は、常任理事として運営に参画している。

### 《主な行事》

4月 総会	9月 中部地区パークゴルフ大会
5月 市体協評議員会出席	10月 中部地区ゴルフ大会
6月 地区体協対抗カローリング大会参加	11月 地区体協対抗パークゴルフ大会参加
8月 三世代交流レクリエーション大会	その他 中部地区体協理事会 年間 5回

市体育協会主催の行事参加に住民は協力的であり、駅伝大会やゴルフ大会にも選手集めに苦勞しながらも参加してきた。しかし、いずれも令和元年と2年に少子化や選手不足の影響で中止となり今は懐かしい思い出となっている。

これらの競技に代わり、地区対抗の競技として、レクリエーションスポーツであり、誰でも気軽にできるカローリングとパークゴルフが導入された。

当地区では、カローリングは三世代交流レクリエーションでの実施種目として取り上げ、パークゴルフは当地区大会を新設して、住民の健康増進と交流の場として取り入れている。

地区対抗の成績はカローリングで1位（平28）、2位（令3）3位（平25、平30）であり、パークゴルフは7位（令3）である。パークゴルフは年々人気が出てきて、クラブの貸し出しも考えて少しずつ購入している。

三世代交流レクリエーション大会はコロナ感染防止の為、令2～4年まで中止となった。

### 《全国的な大会で活躍した中部地区の選手（H25～）》

水泳競技では、平野洋康選手は石動中学3年時（平29）に全国中学校大会で個人メドレー400m3位、同200m2位。高岡高校1年時（平30）には国体で個人メドレー200m3位、100m背泳2位（1年、平30）。富大医学部1年時（令4）に国体で背泳に出場している。

同じく水泳で、妹の平野佐季選手は石動中学2年（平30）、3年（令1）と全国中学校大会に出場、また国体にも出場（令1）。更に、福岡高校2年時に日本高等学校水泳大会に出場している。

ホッケー競技では中野みのり選手（旧姓吉田）は過去に国体で富山県選手団の旗手を務めたことがあり、結婚・出産を経て、令和4年度の国体に出場し、マスターズ大会では優勝に貢献した。

## 3. 今後の活動について

中部地区は、今後ますます少子・高齢化のあおりを受け、各種大会の出場や運営が難しくなると思われる。このような時こそ役員組織をより強固なものにして、地区住民の状態を把握し、行事を通して健康維持と親睦の方法を見つけ出す努力をしていきたい。

# 東部地区体育協会



会長 前島 文彰



## 1. 協会の方針

本会は体育の進行と普及に努め以て地域振興の活性化ならびに地域住民の健康の増進に寄与することを目的とする。

## 2. 10年間の活動状況

4月 総会

5月 歩こう会

雨天中止の年もありましたが、現在32回開催されており、半日で市内名所を歩きます。

8月 住民体育大会

例年8月の第一日曜日に開催していましたが、近年は猛暑日を避けるため模索中です。

9月 ニュースポーツ体験会

住民運動会の代替行事として、また新たな試みとして、東部公民館にて開催いたしました。幅広い年代の方でも楽しく競技することができます。

12月 東部3地区対抗ミニ運動会

子撫、宮島、東部地区の3地区体協合同でミニスポーツ大会を行っています。

3月 ピンポン大会

27回開催されております。室内競技なので冬季でも開催でき、老若男女問わず参加できる大会です。

## 3. 今後の活動について

コロナ禍により活動ができていませんでしたが、徐々に活動を再開しています。

地域住民の方に楽しんで頂くのはもちろんですが、役員及びスタッフも一緒に楽しめるイベント作りにより地域を盛り上げる努力をしたいと思います。

# 北部地区体育協会



会長 中谷 隆志



## 1. 活動方針

北部地区住民の健康の増進と、住民相互の親睦と融和を図ることを目的としており、各種行事の企画運営や各種団体への協力参加を通して、地域の発展に貢献できる協会を目指しております。

## 2. 10年間の活動状況

### ・ 会長

平成21年～平成26年	垣田 俊彦
平成27年～令和 2年	山本 裕二
令和 3年～現在	中谷 隆志

### (8月) 清楽園納涼祭ボランティア協力

例年清楽園にて開催される「納涼盆踊り大会」に屋台運営のボランティアとして参加協力しております。



ほくぶフェス (屋台バーベキュー)

### (9月) ほくぶフェス

夏の恒例行事となっていたスポレク祭ですが、より住民が気軽に参加できるよう、平成29年より競技を廃止し、会場を街中に移し「ほくぶフェス」として新たな形で開催しております。

メインステージでの多彩な催し物のほか、三世代ふれあいバーベキュー、ニュースポーツ、さらに防災関連のイベントも同時開催しており、幅広い世代の方々に楽しんで頂ける場となっております。



住民親睦マーじゃん

### (10月) 市駅伝競走大会

最後となった36回大会まで、毎年選手選考から合同練習・コース試走による選手育成、大会当日は各中継点でのフォロー等、最後までタスキを繋げることを目標に役員一丸となって選手をサポートしてきました。

### (2月) 住民親睦マーじゃん大会

それまで開催していたボウリング大会に変わり、平成27年より「住民親睦マーじゃん大会」を企画・運営しており、和気あいあいとした中で熱戦が繰り広げられております。

## 3. 今後について

現在コロナの影響により活動が制限される中、withコロナを見据えた事業体制について模索しながら見直しを図っていきたいと思います。

また、子供数の減少、若年層の参加率低下、体協役員の高齢化といった継続的な課題もありますが、若手役員の育成や他団体との連携・協力を強化しながら、より地域に根付いた活動を展開していきたくて考えております。

# 南部地区体育協会



会長 八嶋 大道



## 1. 協会の方針・目的等

南部地区民の間にスポーツ・レクリエーションを振興し、その普及を図る。

また、健康の増進及び生活の明朗化を求めるとともに地区住民間の友好と親睦を深め、南部地区の発展と向上に寄与することを目的とする。

## 2. 10年間の活動状況

平成24年4月～平成26年3月まで第7代屋敷 吉信会長が4期8年務められ、平成26年4月からは八嶋 大道会長へと引継がれた。

ちょうど時代が平成から令和に移り変わり、さらには新型コロナウイルス感染拡大により人との接触を避ける「新しい生活様式」が呼びかけられる中で、南部体育協会のあり方や事業内容において様々に議論模索していく10年であった。

### 《主な年間行事》

- 8月 南部地区体育祭
- 10月 小矢部市駅伝競走大会（令和元年第36回大会まで）
- 11月 歩こう会
- 3月 ニュースポーツ大会（カローリング大会）

### 《市体育協会関係トピック》

- ・平成29年地区体協対抗 総合第1位
- ・平成30年地区体協対抗 総合第5位

## 3. 今後の活動について(課題等)

- ・南部地区体育祭の開催時期や競技種目の再調
- ・会員の増員や会の魅力の向上
- ・南部地区協会の存在意義の見直し
- ・歩こう会やニュースポーツなどの充実

# 南谷地区体育協会



会長 堅田 武



## 1. 協会の方針・目的など

小矢部市体育協会主催等の行事への参加のため、南谷地区にも地区体協を設立しなければ、との声が高まり、初代山本 晃会長を始めとする、有志の皆さんのご尽力により昭和51年5月22日に、体育活動の振興を図り、地域住民の体力向上、体育文化の進展に寄与することを目的として、現在の南谷地区体育協会が発足いたしました。

## 2. 10年間の活動状況

南谷地区は、小矢部市の中では西北の石川県との県境から南北に細長く接する山間地です。

自然環境にも恵まれており、最盛期には人口が2000人を超え、多くの子供たちが地区内の行事に積極的に参加し、地区内を活性化していた時期もありました。

しかしながらここ10年は少子高齢化の影響もあり、小矢部市体育協会主催の行事への参加や、地区民体育祭の開催が年々厳しいものとなっております。

地区の現状を鑑み、活動規模を縮小してはおりますが、引き続き地区の発展に寄与していく所存です。

## 3. 今後の活動について

近年の地区別の人口調査では、地区内の人口は30年前に比べて半減し、高齢化率は50%を超えてきているとのことです。

体育活動推進にはかなり厳しいと思われませんが、地区内では、パークゴルフ等の生涯スポーツへの参加者も徐々に増えてきております。

地区体協としてはこれらの地区内の状況をしっかりと把握し、引き続き地区の発展と地区民の親睦交流を図るため、微力ではありますが、継続的な活動を推進してまいります。

# 埴生地区体育協会



会長 宮 一弘



## 1. はじめに

埴生地区体育協会は、昭和38年3月の小矢部市体育協会発足を受け、当時の各地区体協（13地区）と同時に発足しました。

初代会長から現会長まで12代目を数え多くの役員理事の団結のもと、埴生地区のスポーツ振興に寄与してきました。

本会は体育、運動、競技を振興し、住民の体力向上と健全な発展を図り、明朗活発な体育文化の進展に寄与することを目的としています。

## 2. 主な活動

### (1) 年間行事

- 5月 総会
- 6月 春季球技大会、地区対抗カローリング大会
- 8月 ソフトボール大会、埴生地区民体育祭
- 10月 おやべ422人リレーマラソン大会  
(～2019 駅伝競走大会)
- 11月 埴生公民館祭、地区対抗パークゴルフ大会
- 12月 小矢部市キンボール交流大会
- 2月 冬季球技大会、小矢部市ビーチボール大会



### (2) 自主行事の取り組み

一年の自主行事として、春の球技大会、夏のソフトボール大会、地区民体育祭、冬季球技大会があります。いずれの大会も10町内に分け、優勝を目指す対抗方式を採用しており、多くの参加者が熱い汗を流しています。

最近では、これらの大会にニュースポーツを取り入れ、フラバーバレー、モルックなどを実施しています。

### (3) 市事業への取り組み

埴生地区体育協会では、従来から小矢部市の主催するゴルフ大会、ニュースポーツ大会、駅伝競走大会をはじめ、キンボール交流大会、ビーチボール大会など様々な競技へも積極的に参加しています。

駅伝競走大会では第33～35回(2016～2018年)3連覇を含む15回の優勝経験を持ちその後2022年からは“おやべ422人リレーマラソン大会”への参加をしています。



バドミントン



地区対抗カローリング大会



モルック



駅伝競走大会

## 3. これからの体協

多様化の進む生活の中で少子高齢化も進み、小矢部市の事業の他、地域行事への人材不足が懸念されるのは、どの地区も同じだと思います。

今、埴生地区は住宅化も進み、新しい住民の皆さんとスポーツやイベントを通じて地区として一体化できるように、埴生地区体育協会は誰もが参加しやすく楽しめる事業をこれからも実施していきたいと思っています。

# 松沢地区体育協会



会長 小野 正則



## 1. 協会の方針・目的

松沢地区体育協会は、8地区(11町内)で構成されています。

方針・目的として地区住民の親睦を図り、明るく健康な地域づくりを目標に生涯スポーツに取り組む、多世代間交流などの活動を通じて自治振興会及び各種団体と、地域住民とのコミュニケーションを図り、更に充実を計るために各地区で運営を分担し、全地区住民参加を進めています。

## 2. 10年間の活動状況

松沢地区体育協会は、平成29年までビーチボール、ソフトボール、体育祭、カローリングを主として対抗戦を行い、平成30年よりカローリング、体育祭、パークゴルフに切り替えて、活動を進めています。

また、当協会では地区民の熱中症対策と高齢化を配慮して、令和2年より一大イベントの体育祭の時期を8月から10月に変更しております。



## 3. 今後の活動方針

松沢地区体育協会としましては、新型コロナウイルス対策、少子高齢化、熱中症対策など、今後も色々課題はありますが、事業のさらなる発展を図りつつ明るく健康な地域づくりを目標に、役員一同と自治振興会をはじめ、地区住民のご支援を受けて、より良い地域づくりに一緒に手を取り合い貢献していきたいと考えております。

## 4. 歴代会長

清水 誠 (平成25年・26年)

八十住 誠修(令和 元年・ 2年)

北川 猛 (平成27年・28年)

小野 正則 (令和 3年・ 4年)

畑島 久成 (平成29年・30年)

# 若林地区体育協会



会長 扇谷 幹



若林地区体育協会

## 1. 協会の方針・目的

令和2年1月の新型コロナウイルス国内初感染確認以降、感染状況が終息しない状況であります。明るく健康な地域づくりのため、地域住民がスポーツを通して交流することは大変重要なことであると考えます。

若林地区体育協会は、このような状況下においても地域住民と家族のコミュニケーションの継続を図るため、感染防止対策を十分に実施した上で活動を行ってまいります。

## 2. 10年間（H25年～）の活動状況

### (1)年間行事

5～6月 ふれあいウォーキング大会

8月 地区住民体育祭 (R3年より10月第一日曜開催に移行)

11月 スポーツフェスティバル (公民館祭りと同開催)

12月 若林地区体育協会役員レクリエーション大会

2月 地区ボウリング大会

大谷校区体育協会交流事業

3月 定期総会

### (2)活動内容の変遷

近年は、家族ぐるみで参加できる行事や体協役員の負担軽減を考慮した企画に努めてまいりました。

例えば、6月はグラウンドゴルフからウォーキング大会へ、冬季はビーチボール・カローリングからボウリング大会に変更しております。

特にウォーキング大会については、施設見学や、いちご狩りなども行っております。

また、「わかたい通信」を若林地区全戸に配布し、広報活動も行っております。

ウ  
ふ  
オ  
れ  
ー  
あ  
キ  
い  
ン  
グ



住  
民  
体  
育  
祭



## 《わかたい通信》

令和4年8月  
第一号  
若林地区体育協会

令和4年5月29日（日）若林地区体育協会主催  
『ふれあいウォーキング大会』が開催されました。

晴天の中（ちよびり暑かったですが）総勢100名の参加者が元気に若林公民館を出発。約2キロの道のりを歩き、目的地である『ガイヤとなみ』に到着。お腹一杯になるまでいちご狩りを楽しみました！

- 出発式：扇谷会長挨拶
- 元気にウォーキング！
- やったー！いちご園に到着だ～！  
お腹いっぱいになるまで食べるぞ～！

## 3. 今後の活動方針

新型コロナウイルスや少子高齢化などの課題はありますが、事業のさらなる充実を図りながら市事業への参加も積極的に募り、活力と調和のある健康で元気な地域形成を目指します。

# 正得地区体育協会



会長 高橋 繁夫



## 1. 協会の方針・目的

本会はスポーツ活動を通じ、地域住民相互の融和と連帯、体力の向上と健康で心豊かな生活に寄与することを目的としています。また、関係団体と連携を保ち、地域振興と発展に努めることにも尽力します。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

本会のイベント行事については、その時々の流れにより内容を吟味し、魅力を維持できるよう努力して参りました。

主な行事として、ふれあいウォーキング、パークゴルフ大会、地区民運動会を実施しています。

パーク  
ゴルフ  
大会



ふれ  
あい  
ウォー  
キング



ふれあいウォーキングについては、コースのバリエーションを増やすと共に、コロナ禍を配慮した地元ルートを歩く地元再発見コースを設定しました。

地区民運動会においては、地区民の高齢化を考慮し、種目の競技性を低減し、地域の皆さまが誰でも参加でき、且つケガのリスクの低い種目を増やして参りました。

また、令和3年度からは「コロナにまけるな！健康貯金でクオカードをもらおう！」と題し、地区住民の運動習慣を定着化させ、健康寿命を延ばす取組みに力を入れています。

しかし、令和2年に発生した新型コロナウイルスの影響で、本会の殆どのイベントが今も中止に追い込まれています。

地区の皆さまの笑い声が響き渡る楽しい地域が一日でも早く戻ってくるよう、新型コロナウイルスの早期収束が望まれます。

## 3. 今後の活動方針

本協会の使命は、地区民相互のコミュニケーション維持向上と、健康寿命の延伸であると認識しています。

先にお話しした、健康増進イベントを主に、地域の皆さまがいきいきと、潤いのある生活を送れるよう、役員一同アイデアを出し合いながら、魅力的な取組みを継続していきたいと感じております。

また、大谷校区4体協（松沢、若林、荒川、正得）で大谷校区交流大会を定期的で開催し、お互いのアイデアや悩みを持ち寄り、活動のブラッシュアップを図っています。

時代は令和に入り、Z世代と呼ばれる若者が活躍する時代です。

これからもアンテナを高く保ち、「多くの世代に魅力ある正得体協」であり続けるよう、努力していく所存です。

# 荒川地区体育協会



会長 吉倉 真一



## 1. 協会の方針・目的

荒川地区体育協会は、スポーツを振興し、体育文化の進展に寄与することと共に、行事を通して住民の体力向上等を図り、地区住民相互の親睦と団結を図ることで、心身ともに充実した生活を送り、地域が活性化することを目指して活動しております。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

### ○開催行事

- ・カローリング大会
- ・住民体育祭
- ・ビーチボール大会（H28まで）⇒パークゴルフ大会
- ・ボッチャー大会



カローリング大会



パークゴルフ大会



住民体育祭

### ○協力行事

- ・親子ふれあいラジオ体操
- ・公民館祭り
- ・ふれあい交流会（レクリエーション）

残念ながら、新型コロナ感染拡大以降は行事がなかなか開催できていない状況です。

※令和4年度、地区体協対抗カローリング大会では、荒川地区が優勝しました。



## 3. 今後の活動方針など

近年、ますます進む少子高齢化の中で、子供からお年寄りまで地域住民の世代を超えたふれあいの場を、スポーツ行事を通じて提供しつづけることを軸に、活力ある地域発展に寄与していきたい。

# 子撫地区体育協会



会長 開田 慎



## 1. 子撫地区体育協会の活動理念

地区民が一致協力して体育の向上と親睦を図り、関係諸団体との連帯を密にして、地域住民の健全なる発達を目指すことを活動理念とし、地区民体育祭、歩こう会、冬季レクリエーション大会等を開催してきました。

また、市体育協会主催の活動への参加や地域スポーツ団体への支援を行うことで、地域スポーツの発展に貢献してきました。

## 2. 歴代役員

	会 長	理 事 長
平成24年～25年度	高橋 智	額谷 昌志
平成26年～29年度	武部 卓也	額谷 昌志
平成30年～令和元年度	岡田 幸弘	額谷 昌志
令和2年度～	開田 慎	額谷 昌志

## 3. 主な年間活動

市体育協会の主催するスポーツ大会に参加するほか、子撫地区体育協会主催の行事として、5月の歩こう会、8月の地区民体育祭、2月の冬季レクリエーション（スキー）を実施してきました。

また、東部地区体育協会及び宮島地区体育協会と合同で三地区ミニ運動会も12月に実施してきました。

近年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、5月の歩こう会は開催したものの、多くの行事は中止となっています。

## 4. この10年の反省と将来に向けたビジョン

これまで、地区民体育祭や歩こう会を開催することで、地区民の体育向上と親睦を図ることに重要な役割を果たしてきました。

しかし、最近では新型コロナウイルス感染拡大による行事の中止、少子高齢化による参加人数の減少があり、8月の地区民体育祭では熱中症の懸念もあります。

今後は女性や年長者が参加しやすい仕組みづくりとプログラムの充実をはかっていきます。

# 宮島地区体育協会



会長 森田 雄二



## 1. 協会の方針

宮島地区は、少子高齢化が進み世帯数も年々減少しているため、近年は体協活動への参加者数も少なくなる傾向にあります。

その中であっても、地域住民との親睦や高齢者の体力増進、健康維持を目指し、また少ない人数ながらも子供たちとの交流を深めることも目的として、誰もが参加しやすい行事を計画したり、積極的に地域の行事に参画しています。

## 2. 10年間の活動状況

### 《主な活動》

#### 5月 春季レクリエーション

歩こう会・バスハイク・パークゴルフ等、毎年5月に外でできるようなレクリエーションを企画しています。

近年は、幅広い年齢層の方が楽しめるように、近場のパークゴルフ場で、パークゴルフをしています。

#### 10月 小矢部市駅伝競技大会（令和元年まで）

#### 12月 三地区ミニ運動会

東部体協・子撫体協・宮島体協の三地区合同で、東部小学校の体育館にて、ミニ運動会として屋内のスポーツ競技を行っています。

#### 2月 冬季レクリエーション

スキー・ボウリング大会・ニュースポーツ大会、冬季に寒い中でも楽しめるようなレクリエーションを企画しています。

近年は地元公民館の体育館を利用して、小さい子供からお年寄りまで楽しめるようなニュースポーツの道具等も購入しながら楽しんでいます。

また、市体協主催のスポーツイベント等には積極的に参加し、地区内行事にも協力しながら、地域住民とのコミュニケーションを深めています。

### ◎歴代会長（平成25年～）

12代 稲葉 茂（平成25年～平成28年）

14代 山本 光秋（平成30年～令和2年）

13代 野口 敏章（平成28年～平成30年）

15代 森田 雄二（令和2年～現在）

## 3. 今後の活動方針など

近年の少子高齢化の影響もあり、年々体協行事への参加者数が減少する傾向にあります。また、昨今のコロナウイルスの蔓延により小矢部市内の行事、地区内の行事、そして体協行事の開催も次々に中止となりました。

今後の活動としては、コロナウイルスの感染拡大状況を、的確に把握しながら行える行事を、感染予防対策を徹底しながら実施し、また小さな子供からお年寄りまで誰もが参加しやすく楽しめるようなイベントを体協役員一同熟慮を重ねながら、活動運営に尽力していきたいと考えています。

# 北蟹谷地区体育協会



会長 野沢 弘一



## 1. 協会の方針

スポーツを通じて、地区住民の健康増進や交流を深め、北蟹谷地区の融和を図る。

## 2. 10年間の活動状況

平成25年から令和元年までに継続して行った行事は次のとおりです。

6月 スポーツ教室（蟹谷地区スポーツ推進委員協議会合同）

7月 夏季レクリエーション（児童クラブ合同）

10月 地区民体育祭

11月 公民館祭（室内ゲーム）

2月 かにっ子スキー教室

その他に市体育協会主催の地区体協対抗競技大会に参加しました。

上記以外に、かにっ子に協力して、実施したカローリングやキンボール大会を開催した年もありました。

北蟹谷地区体育協会では、年間行事を町内会別に担当を割り当てて実施しています。

令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地区体育協会の行事は余儀なく中止となりました。

## 3. 今後の活動について

令和2年から令和4年までの3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、行事を実施できなかったこともあり、地区の皆さんとの交流が途絶えがちでありました。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、中止していた地区民体育祭などの行事を再開できるように、北蟹谷地区体育協会でも工夫していきたいと思っております。

# 東蟹谷地区体育協会



会長 荒永 吉一



## 1. 協会の方針

スポーツの普及・振興と地区住民の健康増進および体力の向上を図るとともに、体育文化の伸展に寄与することを目的として発足しました。

当協会も60周年を迎えることとなりましたが、いまやスポーツ競技の範囲に拘らず、地区住民の心身の健康維持のための支援と地区住民間の親睦融和の一助を担うべく、その要の団体としての活動を進めています。

## 2. 10年間の活動状況

以下に示す行事・活動を定番として長らく続けております。

- ( 5月) カローリング大会：主催
- ( 8月) 地区住民体育大会（運動会）：主催
- (10月) 小矢部市駅伝競走大会に参加
- (10月) 東蟹谷公民館まつりでの食堂運営（うどん販売）
- (11月) パターゴルフ大会：主催
- ( 2月) ビーチボール大会：主催

令和2年度・3年度とコロナ禍において休止状態でありましたが、今年度は6月にウォークラリー大会をクロスランドおやべで開催することができ、爽やかな青空のもと86名の参加で賑わいました。

また、酷暑を避けて開催時期を8月から10月にシフトし、最もビッグなイベントである住民体育大会を3年ぶりに実施。ほぼ例年通りの種目・参加者となり、活気を取り戻せたことは大変うれしい限りでした。

コロナ禍で沈みがちな状況を打破すべく、今年度はこのように前進できたことの価値はとて大きく、地元自治会のご協力・地区住民の皆様の後押しに感謝を申し上げる次第です。



[令和4年 ウォークラリー大会]



[令和4年 住民体育大会]

## 3. 今後の活動について

新型コロナウイルスの苦境に屈することなく、スポーツに臨める機会を設けて「体を動かす」環境づくりに努め、そして何より地区住民の親睦・ふれあいの場を提供することに重きを置き、スポーツジャンル外でも楽しめるイベントを意欲的に開催していきたいと考えております。

# 藪波地区体育協会



会長 長田 伸一



## 1. 基本方針

本協会は、地区住民の多くの方々が、スポーツを通じて、健康で豊かな生活を送れるようにするため、誰もが親しみ、楽しめる生涯スポーツの推進と環境づくりを図ること。

また、スポーツを通して地区町内間の親睦を深め、健康で活気あふれる明るいまちづくりに貢献してまいります。

## 2. 歴代役員

年度	活動期間	会長	副会長		理事長
平成25年度	H25年4月1日～H26年3月31日	西尾 剛	坂田 茂	勢田 栄治	長田 伸一
平成26年度	H26年4月1日～H27年3月31日	西尾 剛	坂田 茂	勢田 栄治	長田 伸一
平成27年度	H27年4月1日～H28年3月31日	西尾 剛	坂田 茂	勢田 栄治	長田 伸一
平成28年度	H28年4月1日～H29年3月31日	西尾 剛	坂田 茂	勢田 栄治	長田 伸一
平成29年度	H29年4月1日～H30年3月31日	坂田 茂	長田 伸一	勢田 栄治	穴倉 健治
平成30年度	H30年4月1日～H31年3月31日	坂田 茂	長田 伸一	勢田 栄治	穴倉 健治
平成31年度 令和元年度	H31年4月1日～R2年3月31日	坂田 茂	長田 伸一	勢田 栄治	穴倉 健治
令和2年度	R2年4月1日～R3年3月31日	坂田 茂	長田 伸一	勢田 栄治	穴倉 健治
令和3年度	R3年4月1日～R4年3月31日	長田 伸一	勢田 栄治	木村 一浩	水上 雅晴
令和4年度	R4年4月1日～R5年3月31日	長田 伸一	勢田 栄治	木村 一浩	水上 雅晴

## 3. 10年間の主な活動

月	活動内容	月	活動内容
4月	定期総会	9月	地区体協対抗ゴルフ選手権大会
5月	町内対抗パターゴルフ大会	10月	小矢部市駅伝競走大会
7月	町内対抗ペタンク大会	11月	公民館祭り（各種大会写真展示）
8月	藪波地区住民体育祭	2月	町内対抗ボウリング大会

その他、市体協・各種団体主催の行事に参加（カローリング大会、パークゴルフ大会等）

※令和元年度で地区対抗ゴルフ選手権大会と小矢部市駅伝競走大会は終了

※令和元年度末から新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの活動を中止、令和3年度から徐々に活動を再開

## 4. 今後の活動方針

人が大勢集まるスポーツ活動において、まだ新型コロナウイルス対応の継続は必要ですが、地区住民が気軽にスポーツを楽しめるように、生涯スポーツを推進し、子どもから大人まで心と身体がリフレッシュできるようなスポーツ行事の考案と推進に努めていきます。

# 津沢地区体育協会



会長 栖原 洋一



## 1. 協会の方針・目的

本協会は、体育の振興と普及及び体力の向上を図り、体育振興に関する各種行事を通して津沢地区住民が心身ともに明るく豊かで、活力あるまちづくりに寄与することを目的として活動を行っています。

また、小矢部市体育協会の実施する諸行事に対する建議協力を行っています。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

本協会では、目的を達成するため、下記のスポーツ大会を主催し実施しています。

6月中旬	ゴルフ大会
8月16日	ソフトボール大会
8月下旬	運動会
9月下旬	カローリング大会

令和2年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべてのスポーツ大会を中止せざるを得ない状況になりましたが、令和3年度には屋外競技で密にならないゴルフ大会を実施しました。

令和4年度にはソフトボール大会を、各自治会1試合のみの交流試合とし、大会規模を縮小した形で実施し、カローリング大会を変更して新型コロナウイルス感染防止のため、屋外競技のパークゴルフ大会を実施しました。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部のスポーツ大会を縮小・未実施となっておりますが、未実施となっているスポーツ大会についても、新型コロナウイルス感染状況を見極めながら開催方法を変更するなどして、どのようにしたら開催できるかを検討しながら実施していきたいと考えています。

スポーツ大会以外の活動としては、津沢地区の活力あるまちづくりに寄与するため、4月に行われます「つぎわ桜まつり」のウォークラリーの協力や飲食ブースへの出店、6月に行われます「津沢夜高まつり」の飲食ブースへの出店など津沢地区行事への協力を行っています。

また、本協会役員の見識向上や交流を目的とした、研修会や小矢部市体育協会が実施するスポーツ大会への参加・運営協力を行っています。

## 3. 今後の活動方針など

本協会としては、人口減少や少子高齢化、社会環境の変化などに対し、スポーツ大会の種目変更を行ったり、運動会の種目変更や運動会自体を縮小したりするなど、津沢地区住民のニーズに合わせ、みんなが参加しやすい事業になるよう改善を心掛けて運営を行っています。

また、今後も本協会が存続するために、積極的に若手メンバーの加入促進を行い、活性化に努めていくとともに、女性の意見を取り入れた事業展開を進めるためにも、女性メンバーの加入促進にも努めたいと考えています。

しかしながら、女性メンバーの加入については大変苦戦している状況です。

# 水島地区体育協会



会長 沢田 一仁



## 1. 協会の方針・目的など

- 各種スポーツ事業、レクリエーション大会等を開催し、地区の生涯スポーツ普及に努めます。
- 町内会対抗の大会を主催し、地区住民の親睦と交流が深まるよう努めます。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

### ① ソフトボール大会（6月下旬）

各町内でチームを作り、トーナメント形式で優勝を争っています。

大会では、地区ごとに多世代の交流が図れるよう「男女混合であるか、40代以上のメンバーを入れること」をチーム編成の条件としています。

優勝チームには優勝カップが贈呈され、歴代優勝チーム名の入ったペナントが結びつけられます。

### ② 地区体育大会（8月中旬）

17町内が水島コミュニティ広場に集まり、6つの競技で得点を競い合っています。

地区最大の行事で、毎回500名ほどの参加があります。各町内ではチームウェアをそろえたり、応援旗を用意したりして、活発に活動しています。

また、大会の運営に地区の中学生も参加しており、大会を盛り上げています。

### ③ 公民館祭りへの参加（11月上旬）

子ども達を対象に、レクリエーション大会を実施しています。

ストラックアウトなど、だれでも楽しく参加できる競技を行っています。

### ④ ニュースポーツ大会（2月下旬）

水島ふれあいドームの完成を機に、ドームを利用した、ニュースポーツの大会を開催しています。

これまで「ラージボール卓球大会」「ユニホック大会」「カローリング大会」を実施してきました。

### ⑤ 娯楽大会（2月下旬）

高齢者も参加できる事業として、麻雀大会を実施しています。

各町内から4人一組で参加チームを募り、個人戦・団体戦を競っています。

## 3. 今後の活動について

- 住民の皆さんが参加しやすい環境を作り地区住民の親睦と交流が深まるよう努めます。

# 小矢部市小学校体育連盟



会長 宮崎 靖

## 1. 連盟の方針・目的等

小学校体育連盟は、小矢部市内の児童の健全なスポーツの普及、奨励を図ることを目的に、次の事業を展開している。

- ① 各校における体力向上のための取り組みの推進（新体力テスト、持久走記録会等）
- ② 関係団体の連携調整
- ③ その他目的達成に必要な事項

## 2. 10年間の活動状況

小矢部市学童陸上記録会の開催と富山県小学生駅伝競走大会への参加が大きな活動である。

小矢部市学童陸上記録会は、小矢部市の全小学校5・6年生全員が参加し、全員種目として「100m走」「60mハードル走」を行っている。選手種目として、「100m走」「80mハードル走（6年生のみ）」「1000m走」「走り幅跳び」「走り高跳び（6年生）」「ソフトボール投げ」「400m混合リレー」を実施し、富山県小学生陸上競技交流大会につなげている。小矢部陸上競技場で行うこの大会は小矢部市体育協会、小矢部市陸上競技協会のご協力のもと、各小学校の教職員が役員となって大会を運営している。

県小学生駅伝競走大会では、市内の全小学校の5・6年生から希望者を募り、練習会、選考会を行い、男子5名、女子5名の選手で代表チームを作り、参加していたが令和2年度、県駅伝の廃止とともに同じく廃止となり、学童陸上記録会は新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年度から中止となっている。

H 2 5 年度	第8回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生536名参加) 置県130年記念富山県小学生駅伝競走大会参加
H 2 6 年度	第9回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生515名参加) 第32回富山県小学生駅伝競走大会参加
H 2 7 年度	第10回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生496名参加) 第33回富山県小学生駅伝競走大会参加
H 2 8 年度	第11回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生488名参加) 第34回富山県小学生駅伝競走大会参加
H 2 9 年度	第12回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生479名参加) 第35回富山県小学生駅伝競走大会参加
H 3 0 年度	第13回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生477名参加) 第36回富山県小学生駅伝競走大会参加
R 元年度	第14回小矢部市学童陸上記録会開催 (市内小学校5・6年生488名参加) 第37回富山県小学生駅伝競走大会参加
R 2年度	県小学生駅伝は、R2年で廃止。
R 3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により
R 4年度	小矢部市学童陸上記録会は中止。

## 3. 今後の活動について

小矢部市学童陸上記録会については、市内の5・6年生の児童数、学級数の減少により、大会運営が難しくなってきたこともあり、令和4年度以降、大会を行わない方針である。今後も、小矢部市体育協会、小矢部市教育委員会、小矢部市小学校長会等と連携しながら、各校における新体力テスト、持久走記録会等の運営に協力するとともに、富山県小学生陸上競技交流大会等の参加を呼び掛けるなど、小矢部市内の児童の健全なスポーツの普及、奨励のための活動を進めていきたい。

# 小矢部市中学校体育連盟



会長 岡 龍哉

## 1. 連盟の方針・目的等

本連盟は小矢部市が誕生した翌年、昭和38年に発足し、小矢部市内の中学校体育の健全な育成を図ることを目的として、その目的の達成のため、市内4中学校の保健体育科を常務理事として、現在10の競技専門部の主任を理事に本連盟を組織している。

## 2. 10年間（H25～）の活動状況

本連盟は、①生徒の運動競技会の開催、②関係団体との連絡調整、③調査研究並びに方策の建議、④その他目的達成に必要な事項として、以下4つの事業を展開してきた。

- ① 小矢部市民体育大会の企画・運営・調整
- ② 小矢部市体育協会、小矢部市教育委員会、富山県中学校体育連盟、砺波地区中学校体育連盟との連絡調整
- ③ 小矢部市運動部活動研究大会の実施
- ④ 各種助成申請、強化練習会等の企画・補助

市民体育大会の運営については、部活動の地域移行や、昨今の教員の働き方改革等、学校教育を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、各種市競技連盟、協会と連携を図り、本連盟主催から協会主催へと移行している。

また、運動部活動の運営についても、令和5年度の段階的な地域移行へ向けて、今年度後期より軟式野球競技、柔道競技、ホッケー競技で試行している。



ホッケー強化練習会



軟式野球市民体育大会

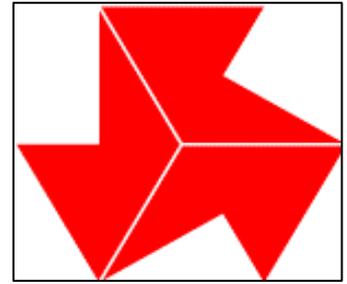
## 3. 今後の活動方針など

今後も小矢部市内の中学校体育の健全な育成を図ることを目的としながら、大会運営や強化練習会の実施だけでなく、運動部活動の運営自体も小矢部市体育協会をはじめ、各種競技団体、総合型地域スポーツクラブと連携していく必要がある。競技によって、理事の負担に差がないように働きかけたい。

# 小矢部市 高等学校体育連盟



会長 中尾 公一



## 1. 方針・目的等

本連盟は、小矢部市高等学校における体育・スポーツの普及・発展と健全な心身の発達を図ることを目的としている。

高校生にスポーツ活動を通して大きな希望と喜びを与え、心身ともに健全な人間的成長を促す。

## 2. 10年間の活動状況

本団体には石動高校、となみ野高校、小矢部園芸高校の3校が加盟している。令和3年度には全国高校総体ホッケー大会が本市で開催された。その結果、石動高校女子ホッケー部が見事優勝し、大会三連覇の快挙を成し遂げた。

となみ野高校、小矢部園芸高校においても全国高等学校定通制体育大会に毎年参加し、多くの上位入賞者を輩出している。

令和3年度の富山県高等学校定通制陸上競技大会では小矢部園芸生が女子400mにおいて15年ぶりの大会新記録を樹立し、その後の全国大会でも準優勝と好成績を収めた。



※令和3年  
石動高校女子ホッケー部全国  
高校総体3連覇

※令和4年  
第77回国民体育大会  
準優勝



## 3. 今後の活動方針

小矢部市高等学校の体育活動をさらに活発化させ、未来ある高校生の人間的成長を促すべく今後とも活動に取り組んでいく。そうすることで、小矢部市全体の体育活動活性化に貢献していきたい。

# 小矢部市 スポーツ少年団本部



本部長 石田 義弘



## 1. スポーツ少年団の創設

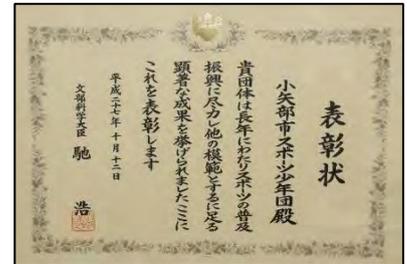
スポーツ少年団は、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを！」「スポーツを通して青少年のからだところを育てる組織を社会事業の中に！」と願い、財団法人日本体育協会が創立50周年の記念事業として、1962年に創設したメンバーシップ性（登録）をとっている青少年団体です。

小矢部市においては、日本スポーツ少年団が、メンバーシップ制を始めた1979年には、11単位団364名の団員と18名の指導者が登録しており、今年度は25単位団418名の団員と80名の指導者が活気ある活動を行っています。

少子化とともに近年コロナの影響もあり、全国的に団員数は減少しています。当市においては減少傾向も落ち着き今年度は若干増となりました。

## 2. 全国表彰受賞

平成27年10月に、当スポーツ少年団が長年のスポーツ普及振興への尽力に対し、生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣から表彰を受けた。



## 3. 活動の現況

令和2年の合同入団式も例年通り実施の予定も全国的にコロナ感染が拡大、当市においても諸事業が見送られ、合同入団式を中止とし、競技によっては相次いで大会等が中止となることとなり、子供たちにとっては誠に寂しい日々が続くことになりました。

各種競技はコロナ禍の中、感染予防対策をしながら大会等実施の方向へ進めています。

## 4. 小矢部市スポーツ少年団登録の推移

年 度	団 数	団 員 数			指 導 者 数		
		男子	女子	計	男性	女性	計
平成25年度	29	366	263	629	132	19	151
平成26年度	29	330	241	571	120	18	138
平成27年度	29	323	224	547	126	21	147
平成28年度	29	279	246	525	127	18	145
平成29年度	29	224	221	445	109	19	128
平成30年度	29	244	235	479	120	15	135
平成31年度	27	220	230	450	107	20	127
令和 2年度	25	207	204	411	100	13	113
令和 3年度	26	224	188	412	99	10	109
令和 4年度	25	253	165	418	102	8	110

## 5. 歴代小矢部市スポーツ少年団本部長及び指導者協議会会長（敬称略）

小矢部市スポーツ少年団

本部長 石田 義弘  
2009年4月～現在

小矢部市スポーツ少年団指導者協議会

会長 千代 士朗 2010年7月～2020年3月  
会長 松 嘉一 2020年4月～現在

# 小矢部市連合婦人会



会長 飛田 久子



## 1. 連盟の方針・目的等

「地域から必要とされ、楽しくてためになる婦人会」をめざしています。昭和38年4月1日より活動を続けて、来年度が60周年になります。

- 1 組織活動の充実
- 2 男女共同参画社会の推進
- 3 家庭教育の振興と青少年の健全育成
- 4 環境保全と消費者教育の推進
- 5 世界平和の確立



## 2. 10年間の活動状況

工夫・改善しながら、毎年、月毎に次のような活動を実践しています。

- 4月 総会（講演会を毎年実施。R2年度のみコロナ禍で书面決議）
- 5月 花いっぱい運動（R2・R3年度、石動地区婦人会が市花壇づくりコンクールで最優秀賞）
- 6月 砺波地区指導者研修会（3年に一度の開催。令和2年度から県西部指導者研修会に変更）
- 7月 環境セミナー（県内のごみ処理施設、太陽光・水力発電などの施設で環境について学ぶ）
  - ※R3年度に3R推進全国大会・団体の部で「環境大臣表彰」を受賞
- 8月 スポーツ交流会（R3年度からは、パターゴルフ大会からカローリング大会に挑戦）
- 9月 税務研修会（市の出前講座で税理士を講師に招き、税への関心と理解を高める）
  - 結核予防複十字シール運動（総会や各行事の際に募金活動を通して、啓発活動）
- 10月 中部再発見日帰り研修旅行（R3・R4はコロナ感染予防の為、大型バス2台で福井等へ）
- 11月 婦人会祭り（クラブ・サークル活動紹介とクラブ体験、1年間の活動紹介）
  - 家庭教育研究集会（料理教室、5G・健康・防災など講演会）
- 12月 愛の一品運動（市内公共福祉施設にタオル・洗剤、手作りの座布団などを寄付）
  - 1月 市政に関する学習会（市長・議長・教育長に女性の視点からの質疑応答）
  - 2月 親子ソリ・スキー教室（牛岳温泉スキー場にて実施、幼児から小学6年生まで参加）
  - 3月 婦人会だより発行（市内全地区班回覧）

## 3. 今後の活動について

- 1 女性の教養を高める
  - ・クラブ・サークル活動
  - ・ミニ講座（定例会の前に）
  - ・環境セミナー
  - ・日帰り研修旅行等
- 2 女性の福祉と地位向上を図る
  - ・婦人会祭り
  - ・市政に関する学習会
  - ・家庭教育研究集会等
- 3 明るく住みよい社会づくり
  - ・愛の一品運動
  - ・クロスランド夏祭り盆踊り大会参加や翌朝清掃活動
  - ・「ごみゼロ運動」や「きれいにせんまいけ大作戦」など地域美化活動に積極的参加
- 4 活動の活性化と会員増をめざす
  - ・ホームページの更新
  - ・婦人会だよりの発行

## 【資料1】

## 小矢部市駅伝競走大会成績 2-1

年度	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成01年	平成02年	平成03年	平成04年	平成05年	平成06年	平成07年	平成08年	平成09年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
優勝	水島	水島	北蟹谷	北蟹谷	藪波	北蟹谷	埴生	津沢	松沢	埴生	水島	埴生	埴生	埴生	埴生	西部	埴生	埴生
2位	北蟹谷	津沢	津沢	藪波	東蟹谷	埴生	藪波	藪波	藪波	松沢	埴生	北蟹谷	水島	正得	南谷	埴生	西部	北蟹谷
3位	松沢	北蟹谷	松沢	埴生	南谷	松沢	東蟹谷	正得	津沢	藪波	北蟹谷	水島	子撫	南谷	東部	若林	津沢	正得
4位	西部	藪波	南谷	水島	荒川	水島	荒川	松沢	北蟹谷	北蟹谷	荒川	藪波	東部	東蟹谷	北蟹谷	津沢	荒川	荒川
5位	津沢	東部	東部	津沢	埴生	荒川	松沢	荒川	正得	水島	松沢	津沢	藪波	荒川	水島	子撫	東部	西部
6位	東部	埴生	北部	南谷	松沢	藪波	若林	水島	若林	荒川	南谷	子撫	松沢	北蟹谷	正得	荒川	若林	南部
7位	若林	若林	藪波	東蟹谷	水島	東蟹谷	津沢	若林	埴生	津沢	藪波	荒川	津沢	東部	若林	水島	松沢	子撫
8位	南谷	松沢	荒川	松沢	西部	若林	北蟹谷	北蟹谷	東蟹谷	中部	子撫	東蟹谷	北蟹谷	水島	南部	正得	南谷	南谷
9位	中部	東蟹谷	東蟹谷	西部	北蟹谷	正得	水島	埴生	中部	正得	東部	松沢	南谷	藪波	子撫	北蟹谷	正得	津沢
10位	東蟹谷	西部	水島	北部	若林	津沢	正得	東蟹谷	南谷	東部	若林	東部	西部	松沢	西部	南谷	藪波	松沢
11位	宮島	南谷	若林	東部	津沢	東部	西部	南谷	子撫	西部	津沢	正得	正得	子撫	藪波	藪波	水島	中部
12位	藪波	北部	埴生	若林	正得	南谷	南谷	南部	東部	若林	正得	中部	荒川	中部	東蟹谷	松沢	南部	若林
13位	荒川	南部	中部	宮島	宮島	宮島	宮島	宮島	荒川	北部	東蟹谷	南部	東蟹谷	津沢	荒川	南部	子撫	東蟹谷
14位	子撫	中部	西部	中部	北部	西部	東部	東部	北部	南谷	中部	若林	南部	宮島	津沢	東部	東蟹谷	水島
15位	埴生	荒川	子撫	正得	子撫	子撫	南部	北部	宮島	東蟹谷	西部	西部	中部	若林	松沢	東蟹谷	北蟹谷	東部
16位	南部	子撫	正得	子撫	中部	中部	北部	中部	水島	子撫	北部	南谷	北部	南部	北部	北部	北部	藪波
17位	北部	宮島	宮島	荒川	東部	北部	子撫	西部	西部	南部	宮島	宮島	若林	西部	中部	中部	中部	北部
18位		正得	南部	南部	南部	南部		子撫		宮島	南部	北部	宮島	北部	宮島	宮島	宮島	宮島

【資料1】

小矢部市駅伝競走大会成績 2-2

年度	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
回数	第 19 回	第 20 回	第 21 回	第 22 回	第 23 回	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	第 28 回	第 29 回	第 30 回	第 31 回	第 32 回	第 33 回	第 34 回	第 35 回	第 36 回
優勝	埴生	埴生	北蟹谷	西部	北蟹谷	西部	北蟹谷	南谷	南谷	埴生	埴生	水島	水島	水島	埴生	埴生	埴生	荒川
2位	東蟹谷	北蟹谷	東蟹谷	埴生	埴生	埴生	埴生	北蟹谷	埴生	松沢	松沢	松沢	津沢	荒川	水島	荒川	荒川	正得
3位	北蟹谷	南谷	埴生	松沢	東蟹谷	北蟹谷	東蟹谷	松沢	東蟹谷	若林	水島	津沢	松沢	松沢	正得	水島	正得	水島
4位	西部	松沢	西部	東蟹谷	西部	水島	南谷	埴生	松沢	南谷	津沢	若林	埴生	埴生	荒川	藪波	津沢	埴生
5位	南谷	東蟹谷	南谷	北蟹谷	南谷	松沢	松沢	水島	北蟹谷	水島	南谷	南谷	若林	津沢	松沢	松沢	松沢	松沢
6位	正得	西部	松沢	北部	北部	藪波	北部	荒川	若林	津沢	若林	北蟹谷	荒川	正得	藪波	正得	藪波	若林
7位	南部	正得	正得	荒川	藪波	若林	西部	子撫	荒川	北蟹谷	荒川	埴生	藪波	若林	津沢	津沢	子撫	藪波
8位	松沢	南部	水島	中部	津沢	南谷	水島	若林	津沢	藪波	北蟹谷	荒川	東部	西部	子撫	南谷	水島	津沢
9位	津沢	荒川	藪波	津沢	松沢	東蟹谷	子撫	南部	水島	荒川	西部	藪波	西部	北部	東蟹谷	若林	若林	子撫
10位	子撫	北部	荒川	水島	荒川	荒川	荒川	津沢	西部	東部	南部	西部	東蟹谷	藪波	北蟹谷	宮島	北蟹谷	北部
11位	若林	藪波	南部	子撫	中部	正得	藪波	東蟹谷	南部	南部	北部	南部	正得	東蟹谷	宮島南谷	北蟹谷	北部	東蟹谷
12位	荒川	水島	津沢	藪波	若林	南部	南部	藪波	宮島	子撫	子撫	宮島	子撫	子撫	東部	東蟹谷	東蟹谷	南部
13位	北部	子撫	中部	若林	正得	津沢	中部	中部	東部	西部	藪波	東蟹谷	南部	南部	北部	北部	南部	宮島南谷
14位	水島	津沢	北部	東部	東部	子撫	若林	宮島	北部	東蟹谷	東部	東部	南谷	宮島	若林	南部	東部	北蟹谷
15位	藪波	若林	東部	正得	子撫	宮島	東部	正得	子撫	北部	宮島	正得	宮島	東部	西部	子撫	西部	西部
16位	中部	中部	子撫	南谷	宮島	中部	津沢	東部	中部	正得	正得	子撫	中部	中部	南部	南部		東部
17位	東部	東部	若林	南部	南部	東部	正得		正得	宮島	中部	北部			中部	北部		
18位	宮島	宮島		宮島			宮島		藪波	中部	東蟹谷	中部				中部		

【資料2】 地区体協対抗カローリング大会 歴代成績

年度	1位	2位	3位	4位	5位	6位
平成25年 2013	荒川	水島	中部	東部	松沢	若林
平成26年 2014	津沢	子撫	北部	荒川	南部	東蟹谷
平成27年 2015	津沢	南部	荒川	北蟹谷	松沢	東蟹谷
平成28年 2016	中部	西部	北蟹谷	埴生	津沢	若林
平成29年 2017	南部	荒川	正得	北蟹谷	津沢	西部
平成30年 2018	東部	東蟹谷	中部	西部	北蟹谷	—
令和元年 2019	南部	正得	西部	東蟹谷	荒川	水島
令和2年 2020	中 止					
令和3年 2021	埴生	中部	荒川	藪波	東部	南谷
令和4年 2022	荒川	埴生	松沢	藪波	子撫	東蟹谷

平成21年度から開始

地区体協対抗パークゴルフ大会 歴代成績

年度	回数	1位	2位	3位	4位	5位	6位
平成30年	1回	西部	東部	宮島	松沢	若林	荒川
令和元年	2回	西部	若林	荒川	松沢	東部	南谷
令和2年	3回	中 止					
令和3年	4回	松沢	西部	若林	荒川	南谷	正得
令和4年	5回	南谷	中部	西部	荒川	若林	松沢

平成30年度から開始

地区体協対抗ゴルフ選手権大会 歴代成績

年度	回数	1位	2位	3位	4位	5位	6位
平成25年	25回	南谷	埴生	荒川	水島	南部	藪波
平成26年	26回	南谷	荒川	若林	東蟹谷	北部	南部
平成27年	27回	埴生	南谷	荒川	松沢	若林	正得
平成28年	28回	埴生	水島	南谷	子撫	西部	北部
平成29年	29回	松沢	南部	埴生	水島	北蟹谷	南谷
平成30年	30回	南部	埴生	荒川	南谷	藪波	津沢
令和元年	31回	埴生	荒川	水島	南谷	若林	北部

令和元年度をもって廃止

地区体協年間総合成績 歴代成績

年度	1位	2位	3位	4位	5位	6位
平成25年	水島	荒川	南谷	松沢	埴生	津沢
平成26年	津沢	荒川	水島	南谷	若林	北部
平成27年	荒川	埴生	津沢	松沢	水島	南部
平成28年	埴生	水島	中部	西部	正得	北蟹谷
平成29年	南部	埴生	荒川	松沢	水島	正得
平成30年	埴生	東部	西部	荒川	南部	東蟹谷
令和元年	荒川	西部	埴生	正得	水島	若林

令和元年度をもって廃止

おやべ422人リレーマラソン大会 歴代成績

年度	記録
令和3年 2021	中 止
令和4年 2022	2時間50分01秒

令和3年度から開始

【歴代役員】

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会 長	山本 隆夫	山本 隆夫	山本 隆夫	中嶋 秀明	中嶋 秀明	中嶋 秀明
副 会 長	中嶋 秀明	石田 義弘				
	石田 義弘	塚田 三四治	塚田 三四治	杉澤 弘司	杉澤 弘司	杉澤 弘司
	蟹谷 哲	杉澤 弘司	杉澤 弘司	荒井 勇	荒井 勇	荒井 勇
専務理事	松本 壽夫	松本 壽夫	松本 壽夫	松本 壽夫	塚田 三四治	塚田 三四治
理 事	佐野 克幸	蟹谷 哲	蟹谷 哲	塚田 三四治	松本 壽夫	宮 一弘
	東頭 正悟	佐野 克幸	佐野 克幸	蟹谷 哲	蟹谷 哲	堀内 忠信
	津川 俊雄	荒井 勇	荒井 勇	宮 一弘	宮 一弘	高内 広
	松井 清	谷崎 孝志	谷崎 孝志	高橋 靖夫	高橋 靖夫	舟本 勇
	東 正信	西永 毅	西永 毅	栖原 洋一	栖原 洋一	西尾 剛
	水口 賢	金子 文子	金子 文子	谷敷 慎一	西永 毅	島崎 基彦
	塚田 三四治	山崎 進	山崎 進	西永 毅	山崎 進	谷敷 政江
	杉澤 弘司	宮崎 美明	宮崎 美明	山崎 進	堀内 忠信	中川 邦章
	荒井 勇	栖原 洋一	栖原 洋一	堀内 忠信	高内 広	中ノ神 清光
	谷崎 孝志	高橋 靖夫	高橋 靖夫	高内 広	舟本 勇	長森 義治
	西永 毅	屋敷 吉信	屋敷 吉信	舟本 勇	細川 謙一	山室 外志之
	坂井 忠宏	宮 一弘	宮 一弘	細川 謙一	西尾 剛	井上 善則
	金子 文子	中橋 孝成	中橋 孝成	西尾 剛	島崎 基彦	中山 訓良
	坂田 力	沼田 憲良	沼田 憲良	野沢 弘一	谷敷 政江	橋本 信之
竹越 與貴夫	多田 徹	多田 徹	島崎 基彦	中川 邦章	棚田 敏久	
監 事	庄司 真人	石丸 和義	川越 善昭	川越 善昭	稲原 實	川越 善昭
	沼田 市郎	稲原 實	石丸 和義	稲原 實	川越 善昭	稲原 實
	稲原 實		稲原 實	古村 雅幸	田中 一之	田中 一之

【歴代役員】

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会 長	中嶋 秀明	中嶋 秀明	中嶋 秀明	中嶋 秀明
副 会 長	石田 義弘	石田 義弘	石田 義弘	石田 義弘
	杉澤 弘司	杉澤 弘司	杉澤 弘司	宮 一弘
	宮 一弘	宮 一弘	宮 一弘	山本 裕二
専務理事	塚田 三四治	塚田 三四治	塚田 三四治	塚田 三四治
理 事	荒井 勇	西尾 剛	西尾 剛	西尾 剛
	堀内 忠信	島崎 基彦	島崎 基彦	島崎 基彦
	高内 広	長森 義治	長森 義治	橋本 信之
	舟本 勇	山室 外志之	山室 外志之	津島 俊明
	西尾 剛	橋本 信之	橋本 信之	北 喜樹
	島崎 基彦	棚田 敏久	棚田 敏久	福井 康弘
	谷敷 政江	大村 浩一	大村 浩一	坪内 一浩
	中ノ神 清光	山本 裕二	山本 裕二	大沼 誠一
	長森 義治	穴田 和浩	穴田 和浩	水野 博一
	山室 外志之	津島 俊明	津島 俊明	小田 泰史
	井上 善則	池田 孝夫	北 喜樹	畑島 久成
	中山 訓良	北 喜樹	福井 康弘	荒永 吉一
	橋本 信之	福井 康弘	坪内 一浩	坪谷 勉
	棚田 敏久	坪内 一浩	大沼 誠一	岡 龍哉
大村 浩一			金谷 雄司	
監 事	川越 善昭	川越 善昭	川越 善昭	川越 善昭
	稲原 實	稲原 實	稲原 實	稲原 實
	間ヶ数 昌浩	河原 達矢	山田 秀雄	西村 美穂子

## あ と が き

小矢部市体育協会は、昭和38年3月24日、石動町体育協会と砺中町体育協会の合併により誕生しその後、平成元年5月26日、財団法人化、さらには、平成24年4月1日、公益財団法人に移行し令和5年3月で創立60周年を迎え、「創立60周年記念誌」を発刊することとなりました。

平成25年から令和5年に至る10年間の小矢部市の体育・スポーツ関係の活動と歩みを集約させていただきました。この10年の小矢部市の体育・スポーツ活動の記録として今後の活動推進に役立つことがあれば幸いです。

創立60周年記念事業を実施するにあたり、60周年事業検討委員会での具体的な内容の検討を経て理事会において「記念式典、記念表彰、記念講演及び記念誌発行」についてご承認いただきました。

記念誌編集にあたっては、「創立50周年記念誌」の編集過程を参考として各加盟団体より、この10年を振り返っての執筆と活動写真などの提供をいただきました。

今回、紙面の制限もあり、編集に書き足りない面も多々あったかと存じますが何卒ご了承くださいたいと思います。

近年、新型コロナウイルス感染症拡大という今まで経験のなかった事態に直面、思うような活動ができない状況も示されており、今後の課題として活動の見直しも含めて努力されることにご期待申し上げます。

最後に、本誌発行に当たり、おことばをいただいた皆様、原稿の執筆、写真の提供にご協力を賜りました加盟団体をはじめ多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

令和5年2月吉日

### 「60周年事業検討委員会」

委員長 塚田三四治

事業実行委員長 西尾剛

委員 宮田宗孝 北喜樹 橋本信之 山本修三 浦島透

事務局 川原賢司 串岡幸江 上野昭徳 出村眞澄



屋内スポーツセンター



武道館



3階弓道場



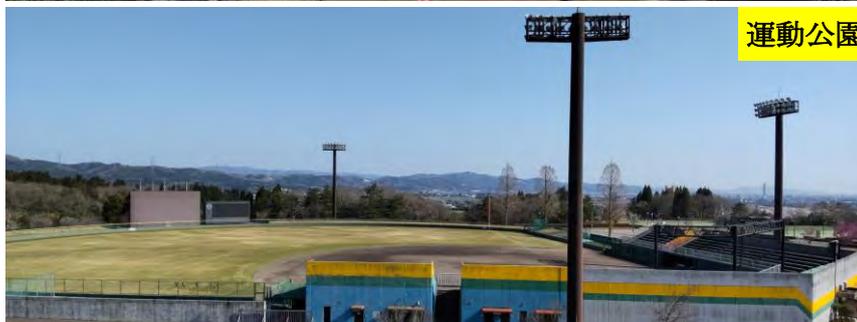
2階剣道場



1階柔道場



運動公園 陸上競技場



運動公園 野球場



運動公園 庭球場



# 創立60周年記念誌

この10年を振り返って

令和5年2月発行

発行 公益財団法人小矢部市体育協会  
小矢部市泉町2番32号

印刷 ヤマシナ印刷株式会社  
小矢部市鷺島37番地2



60<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



小矢部市シンボルキャラクター

メルモちゃん

メルギューくん

OYABE SPORTS ASSOCIATION